

平成 23 年度  
子どもの喫煙等母子保健関係調査結果

山梨県

# 目 次

1 . 調査の概要 .....	1
( 1 ) 目的 .....	1
( 2 ) 実施主体 .....	1
( 3 ) 調査内容 .....	1
( 4 ) 調査期間 .....	1
( 5 ) 調査回収状況 .....	2
( 6 ) 調査結果の分析にあたって .....	2
2 . 調査結果 .....	3
( 1 ) 喫煙 .....	3
( 2 ) 飲酒状況 .....	2 1
( 3 ) 薬物 .....	2 7
( 4 ) 心身 ( 生命 ) を尊重する意識.....	3 3

# 1 調査の概要

## (1) 目的

すべての県民が、生涯にわたって健やかで心豊かな生活ができる社会を築くために「健やか山梨 21」は、平成 13 年に県民の健康増進計画として策定され、県民の参加、関係機関の連携の中で推進されてきたところである。

平成 24 年度に計画の終期を迎え、評価及び次期計画を立案するにあたり、県内の現状を把握することを目的として行う。調査の実施により、子どもの喫煙、飲酒、及び薬物などの健康課題について、関係機関・関係者が連携して、健康教育と環境整備等の対策を推進し、母子保健対策の充実を図る。

## (2) 実施主体

山梨県

## (3) 調査内容

### ア．調査概要

県内の中学生・高校生の喫煙、飲酒及び薬物などに関する状況を把握する。

### イ．調査内容

(ア)「喫煙率」「たばこの害についての知識」

(イ)「飲酒率」「酒の害についての知識」

(ウ)「薬物乱用の有害性についての知識」

(エ)「心身(生命)を尊重する意識」

### ウ．調査対象

・中学校 8 校の全生徒

・高等学校 全日制県立高校 30 校 各学年 1 学級を選んで実施

### エ．調査方法

自記式直接回収方式

各学校で生徒に調査票を配布。生徒は調査票に記入し各自封筒に入れる。それを学校職員が回収する。

## (4) 調査期間

### ア．調査基準日

平成 23 年 12 月 1 日を基準日とする。

### イ．調査実施期間

平成 23 年 11 月下旬から 12 月上旬。

## (5) 調査回収状況

調査票の回収状況は 97.1% (中学生 95.1%、高校生 99.7%) であった。

(表 1-5-1) 公立中学校 全生徒数及び調査生徒数

中学校	全生徒数	調査対象数 (配布数)	有効回答数 (回収数)	男	女	不明
1年	7,861	1,292	1,247	661	566	20
2年	8,232	1,329	1,250	659	562	29
3年	8,327	1,371	1,288	651	610	27
不明			10	5	0	5
合計	24,420	3,992	3,795	1,976	1,738	81

(表 1-5-2) 公立高校(全日制) 全生徒数及び調査生徒数

高校生	全生徒数	調査対象数 (配布数)	有効回答数 (回収数)	男	女	不明
1年	6,773	1,061	1,057	546	504	7
2年	6,988	981	976	470	494	12
3年	6,657	1,030	1,028	521	497	10
不明			2	0	0	2
合計	20,418	3,072	3,063	1,537	1,495	31

## (6) 調査結果の分析にあたって

- ア．図中のN(もしくは別表で掲載)は回答者数のことであり、比率は全てNを基数としたパーセントで表している。なお、パーセントの合計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため100%にならないことがある。
- イ．複数回答の設問の集計は、回答者数(票数)に対する回答数の比率で表すため、各項目の比率の合計が100%を上回ることがある。
- ウ．本調査結果と比較している全国調査の出典元は、厚生労働省 未成年者の喫煙及び飲酒行動に関する全国調査研究グループが平成21年度に実施した「未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究」である。今回、本県で実施した本調査とは調査方法が異なるが、参考値として扱っている。

## 2 調査結果

### (1) 喫煙

#### ア. 喫煙経験

##### (ア) 喫煙経験

今回の調査で、喫煙経験者(今までに一度でもたばこを吸ったことがある者)の比率は、高校1年を除いて男性の方が喫煙経験率が高い。

前回調査と比較すると、性別・学年を問わず喫煙経験率は低い。

(表 2-1-1) 喫煙経験 (中学生)

(人)

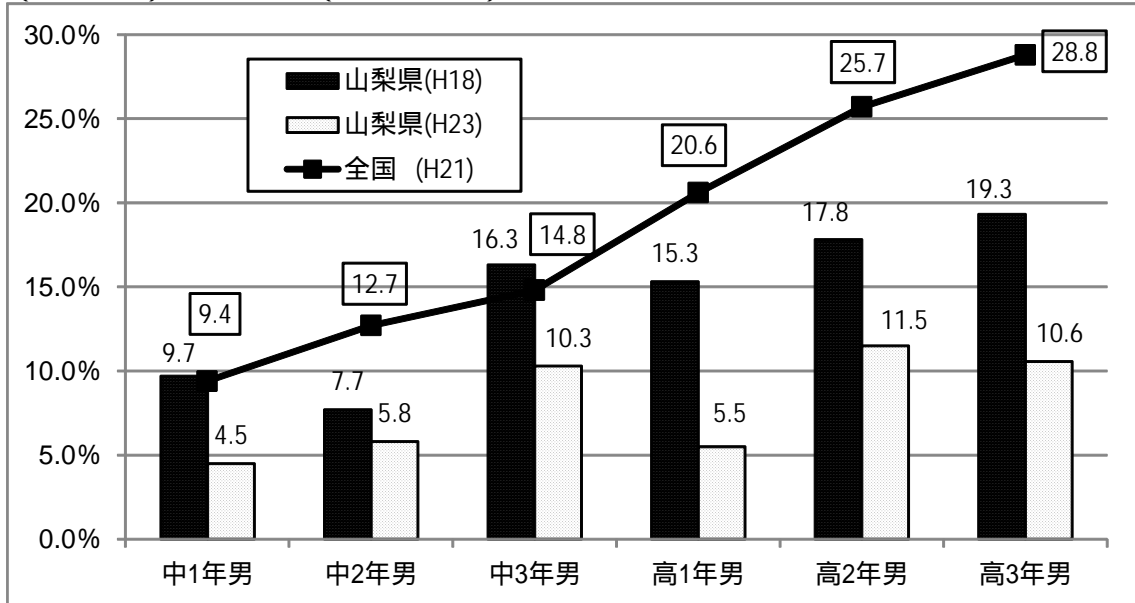
性別	学年	あり	なし	無回答	合計
男	1年	30	614	17	661
	2年	38	599	22	659
	3年	67	571	13	651
	無回答	1	4	0	5
	合計	136	1,788	52	1,976
女	1年	4	537	25	566
	2年	14	536	12	562
	3年	37	545	28	610
	無回答	0	0	0	0
	合計	55	1,618	65	1,738
無回答	1年	3	16	1	20
	2年	3	23	3	29
	3年	2	23	2	27
	無回答	0	3	2	5
	合計	8	65	8	81
合計	1年	37	1,167	43	1,247
	2年	55	1,158	37	1,250
	3年	106	1,139	43	1,288
	無回答	1	7	2	10
	合計	199	3,471	125	3,795

(表 2-1-2) 喫煙経験 (高校生)

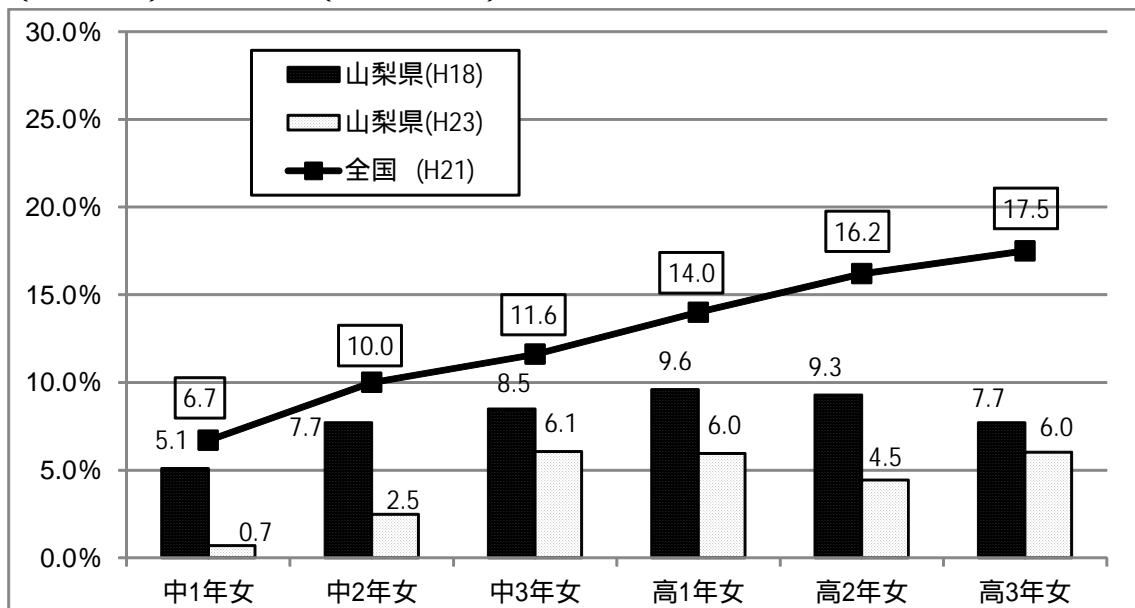
(人)

性別	学年	あり	なし	無回答	合計
男	1年	30	504	12	546
	2年	54	413	3	470
	3年	55	462	4	521
	無回答	0	0	0	0
	合計	139	1,379	19	1,537
女	1年	30	463	11	504
	2年	22	465	7	494
	3年	30	460	7	497
	無回答	0	0	0	0
	合計	82	1,388	25	1,495
無回答	1年	1	6	0	7
	2年	2	10	0	12
	3年	2	8	0	10
	無回答	0	0	2	2
	合計	5	24	2	31
合計	1年	61	973	23	1,057
	2年	78	888	10	976
	3年	87	930	11	1,028
	無回答	0	0	2	2
	合計	226	2,791	46	3,063

(図 2-1-1) 喫煙経験率 (男子中高生)



(図 2-1-2) 喫煙経験率 (女子中高生)



黒いグラフの上の値が山梨県 (H18)、白いグラフの上の値が山梨県 (H23)、枠で囲った値が全国 (H21) の比率を指す。

図 2-1-1 及び図 2-1-2 の比率の母数は次の通り。

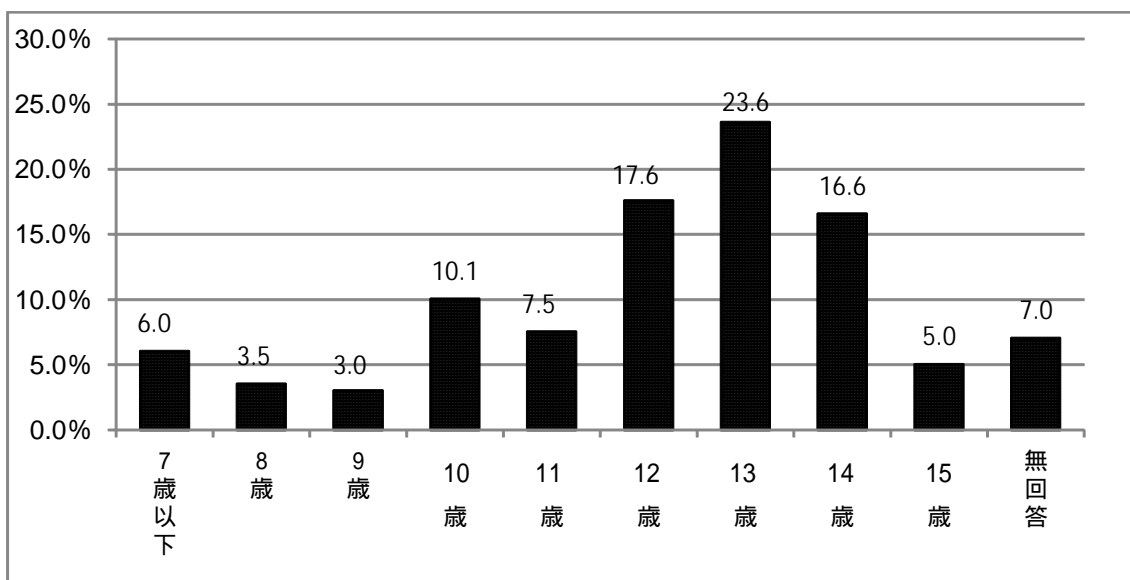
(表 2-1-3) 調査年度別の母数 (男子中高生) (表 2-1-4) 調査年度別の母数 (女子中高生)

	男子中高生 (人)						女子中高生 (人)					
	中1年男	中2年男	中3年男	高1年男	高2年男	高3年男	中1年女	中2年女	中3年女	高1年女	高2年女	高3年女
山梨県 (H18)	466	521	465	613	696	679	449	439	423	583	549	839
山梨県 (H23)	661	659	651	546	470	521	566	562	610	504	494	497
全国 (H21)	6,515	6,792	6,325	10,175	9,646	8,836	6,787	6,857	6,600	9,982	8,682	7,949

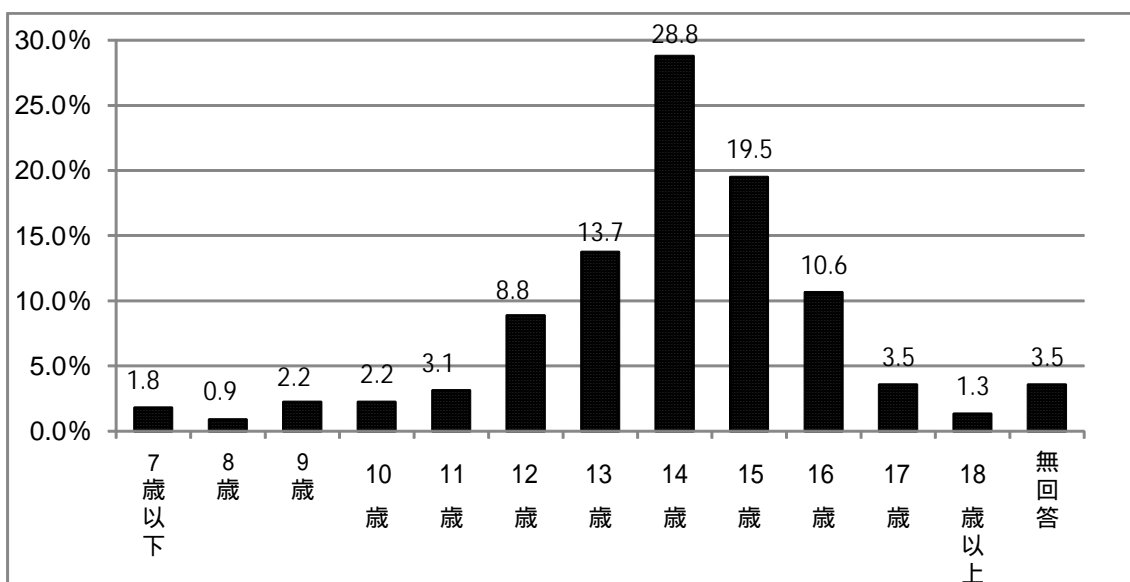
(イ) 初めてたばこを吸った年齢

今回の調査で、初めてたばこを吸った年齢は、中学生では13歳、高校生では14歳の比率が高い。

(図 2-1-3) 初めてたばこを吸った年齢(中学生)喫煙経験者 199 人の内訳



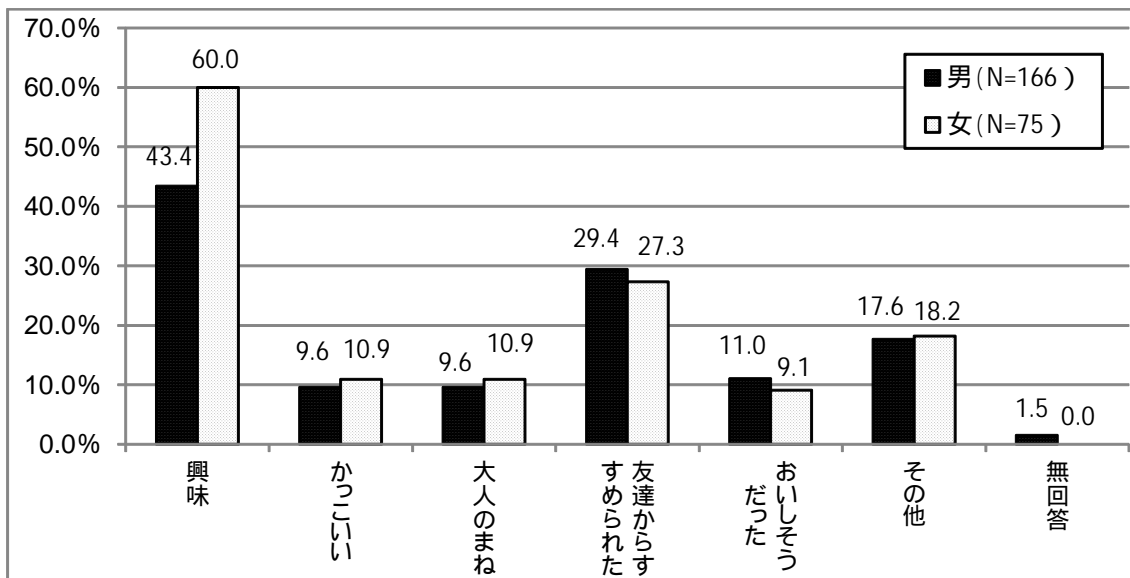
(図 2-1-4) 初めてたばこを吸った年齢(高校生)喫煙経験者 226 人の内訳



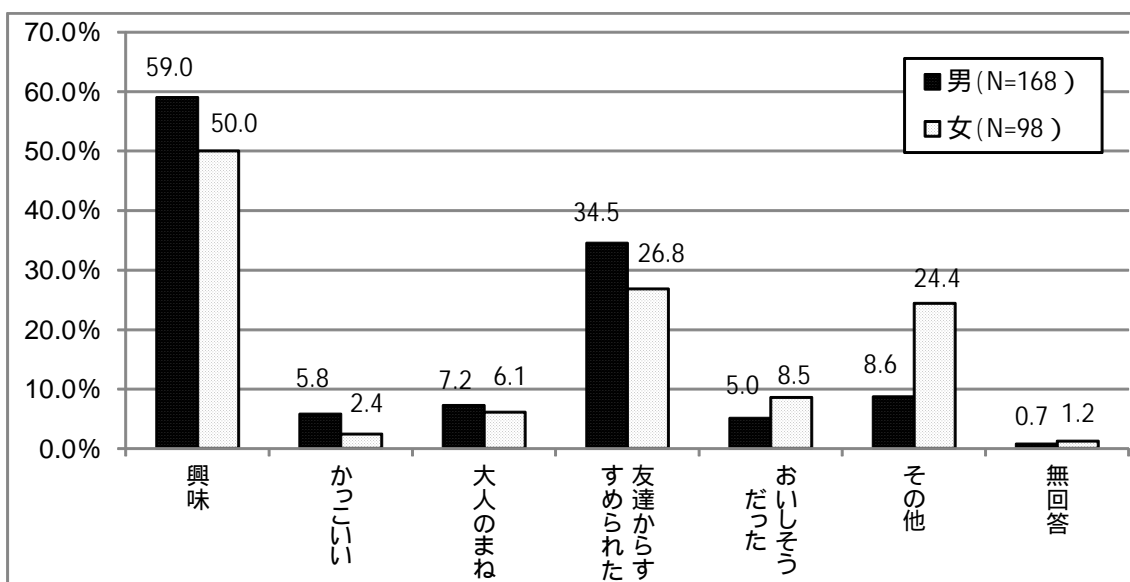
(ウ) たばこを吸ったきっかけ

今回の調査で、たばこを吸ったきっかけは、中学生・高校生ともに「興味」の比率が最も高く、次いで「友達からすすめられた」となっている。

(図 2-1-5) 男女別たばこを吸ったきっかけ (中学生) 喫煙経験者のみ 複数回答



(図 2-1-6) 男女別たばこを吸ったきっかけ (高校生) 喫煙経験者のみ 複数回答





イ．習慣的に喫煙をする率

(ア) 習慣喫煙者数

今回の調査で、習慣喫煙者（過去1か月に喫煙したことがある者）は次の通り。

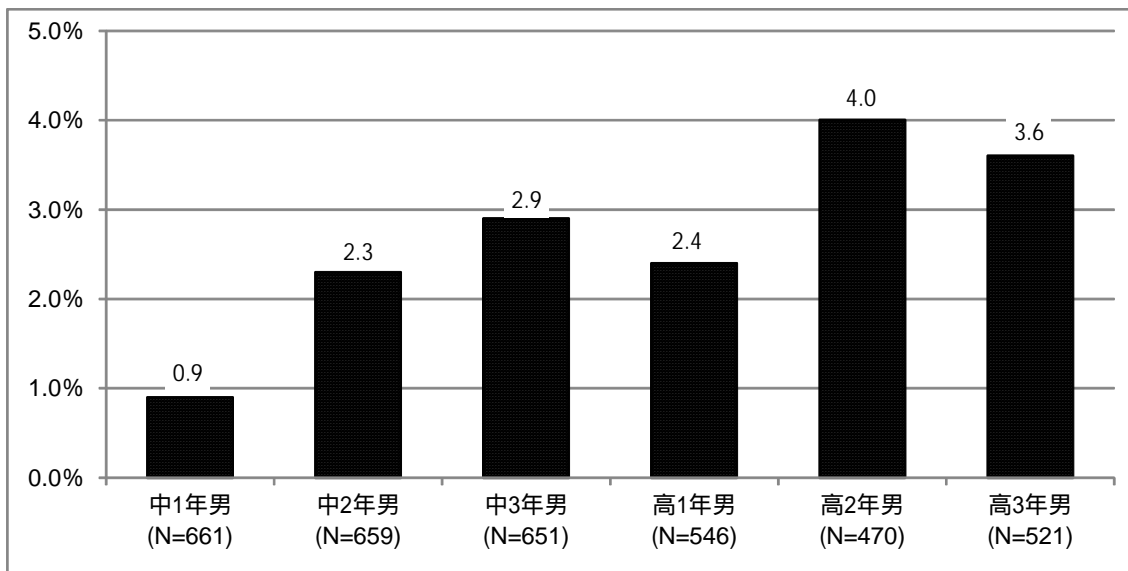
(表 2-1-5) 最近1か月以内にたばこを吸ったか (人)

中高別	性別	学年	はい	いいえ	無回答	合計
中学	男	1年	6	24	0	30
		2年	15	23	0	38
		3年	19	48	0	67
		無回答	0	1	0	1
		合計	40	96	0	136
	女	1年	0	3	1	4
		2年	2	12	0	14
		3年	18	19	0	37
		無回答	0	0	0	0
		合計	20	34	1	55
	無回答	1年	1	2	0	3
		2年	1	2	0	3
		3年	1	1	0	2
		無回答	0	0	0	0
		合計	3	5	0	8
	合計	1年	7	29	1	37
		2年	18	37	0	55
		3年	38	68	0	106
		無回答	0	1	0	1
合計		63	135	1	199	
高校	男	1年	13	17	0	30
		2年	19	34	1	54
		3年	19	35	1	55
		無回答	0	0	0	0
		合計	51	86	2	139
	女	1年	3	27	0	30
		2年	8	14	0	22
		3年	13	16	1	30
		無回答	0	0	0	0
		合計	24	57	1	82
	無回答	1年	0	1	0	1
		2年	1	1	0	2
		3年	1	1	0	2
		無回答	0	0	0	0
		合計	2	3	0	5
	合計	1年	16	45	0	61
		2年	28	49	1	78
		3年	33	52	2	87
		無回答	0	0	0	0
合計		77	146	3	226	

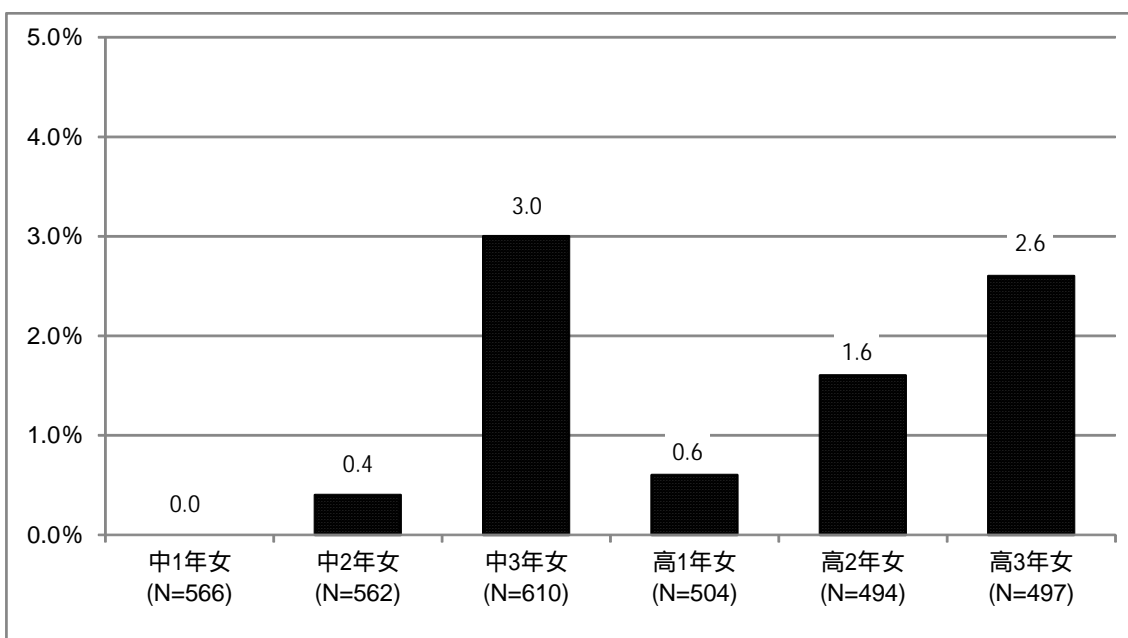
(イ) 習慣喫煙率

習慣喫煙者率は、中学・高校と各々1年から3年にかけて比率が高くなる傾向が見られる。

(図 2-1-7) 習慣喫煙者率 (男子中高生)

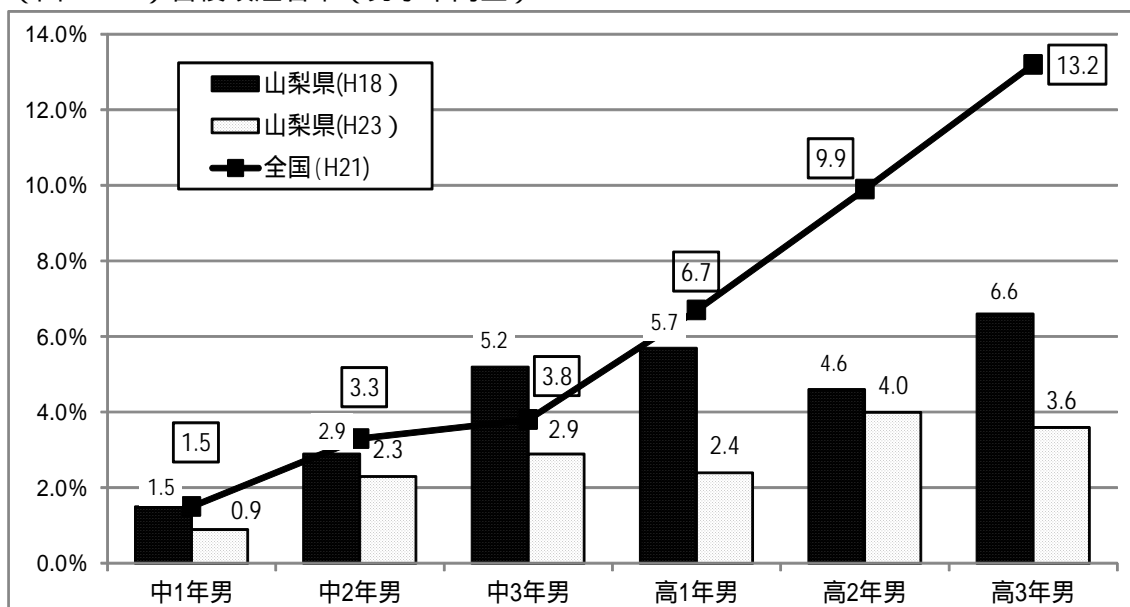


(図 2-1-8) 習慣喫煙者率 (女子中高生)

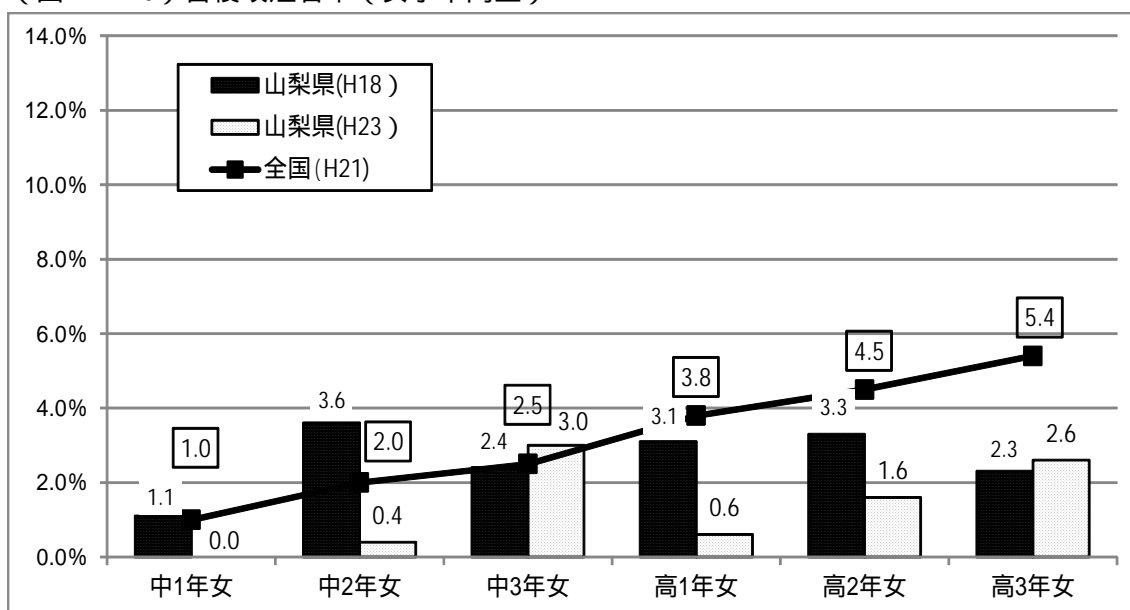


今回の調査で、習慣喫煙者率は、中学3年女子、高校3年女子で前回調査時(H18)と比較して高くなっている。

(図 2-1-9) 習慣喫煙者率 (男子中高生)



(図 2-1-10) 習慣喫煙者率 (女子中高生)



黒いグラフの上の値が山梨県 (H18)、白いグラフの上の値が山梨県 (H23)、枠で囲った値が全国 (H21) の比率を指す。

図 2-1-9 及び図 2-1-10 の比率の母数は次の通り。

(表 2-1-3) 調査年度別の母数 (男子中高生) (表 2-1-4) 調査年度別の母数 (女子中高生)  
再掲(人) 再掲(人)

	中1年男	中2年男	中3年男	高1年男	高2年男	高3年男		中1年女	中2年女	中3年女	高1年女	高2年女	高3年女
山梨県 (H18)	466	521	465	613	696	679	山梨県 (H18)	449	439	423	583	549	839
山梨県 (H23)	661	659	651	546	470	521	山梨県 (H23)	566	562	610	504	494	497
全国 (H21)	6,515	6,792	6,325	10,175	9,646	8,836	全国 (H21)	6,787	6,857	6,600	9,982	8,682	7,949

(ウ) 習慣喫煙者率の増減の有意差について (中1・高3のみ)

中学1年の男女、及び高校3年の男女の習慣喫煙者率は、「健やか山梨21」の評価指標となっている。このため、前回(H18)と今回(H23)の調査における中学1年の男女及び高校3年の男女の習慣喫煙者率の増減について、統計的に有意差があると考えられるか、統計的検定により検証したところ、中1女子と高3男子については有意差あり、中1男子と高3女子については有意差なしという結果となった。

- ・中1男子 【H18：1.5% H23：0.9%】 有意差なし
- ・中1女子 【H18：1.1% H23：0.0%】 有意差あり
- ・高3男子 【H18：6.6% H23：3.6%】 有意差あり
- ・高3女子 【H18：2.3% H23：2.6%】 有意差なし

検定方法は「分散が等しくないと仮定した2標本によるt検定」による。なお、帰無仮説は「H18年度とH23年度の2つの調査において、過去1か月以内に喫煙したことがあると回答した者の比率に差はない」、有意水準は5%に設定した。

検定結果の解釈にあたっては、統計的に「有意差なし」という結果が出たことを持って、「H18年度とH23年度の2つの調査において、過去1か月以内に喫煙したことがあると回答した者の比率に差はない」ことが実証されたわけではないことに注意されたい。あくまで2つの調査において生じた結果の差は「偶然起こりうる程度の差」とみなすことが可能だという、統計学上の判断を示したに過ぎない。

(エ) 1か月の喫煙日数 (習慣喫煙者のみ)

今回の調査で、過去1か月に喫煙したことがあると回答した者の最近1か月にたばこを吸った日の合計は次の通り。高校生で毎日と回答した者が多い。

(表 2-1-6) 1か月の喫煙日数 (人)

中高別	1~2日	3~5日	6~9日	10~19日	20~29日	毎日	無回答	合計
中学	17	8	2	12	6	17	1	63
高校	9	4	2	8	6	48	0	77

(オ) 1日の平均喫煙本数 (習慣喫煙者のみ)

今回の調査で、習慣喫煙者の1日の平均喫煙本数は次の通り。中学生・高校生ともに2~5本の間が多い。

(表 2-1-7) 1日の平均喫煙本数 (人)

中高別	1日1本に満たない	1本	2~5本	6~10本	11~15本	16~20本	20本以上	無回答	合計
中学	10	6	25	5	8	1	7	1	63
高校	6	1	25	16	9	9	10	1	77

ウ. 家族の喫煙状況

(ア) 家族の喫煙

今回の調査で、家族の喫煙状況は次の通り。

(表 2-1-8) 家族の喫煙 (人) 複数回答

中高別	父	母	兄	弟	姉	妹
中学	1,602	809	142	8	59	6
高校	1,246	499	239	20	109	2

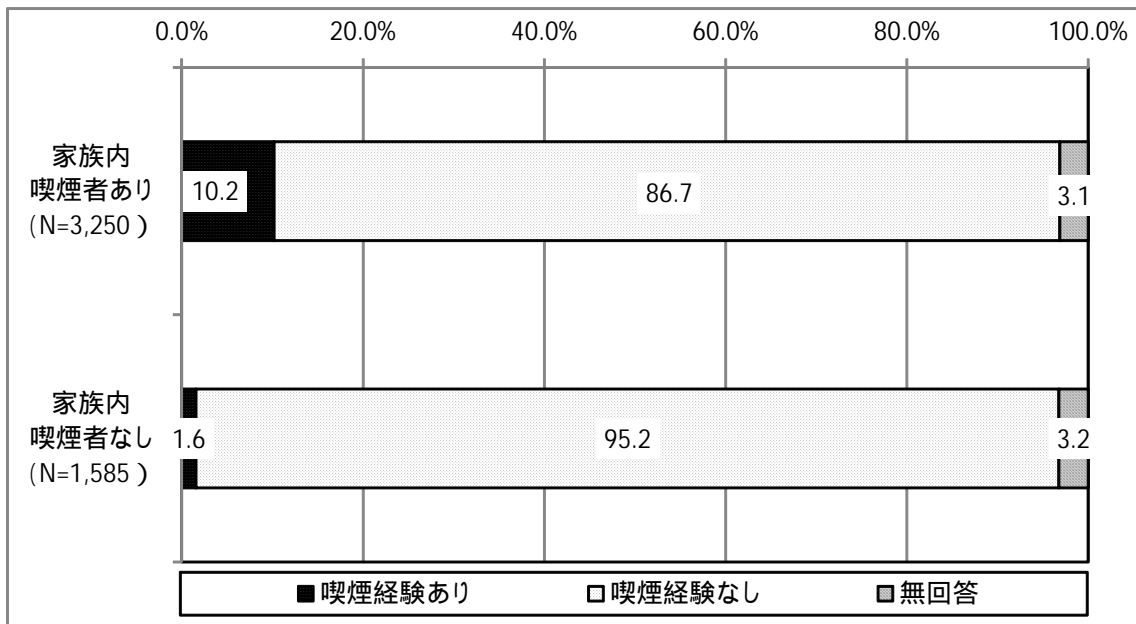
  

中高別	祖父	祖母	その他	吸っている人はいない	無回答	合計
中学	375	164	85	1,585	36	4,871
高校	186	63	20	1,389	11	3,784

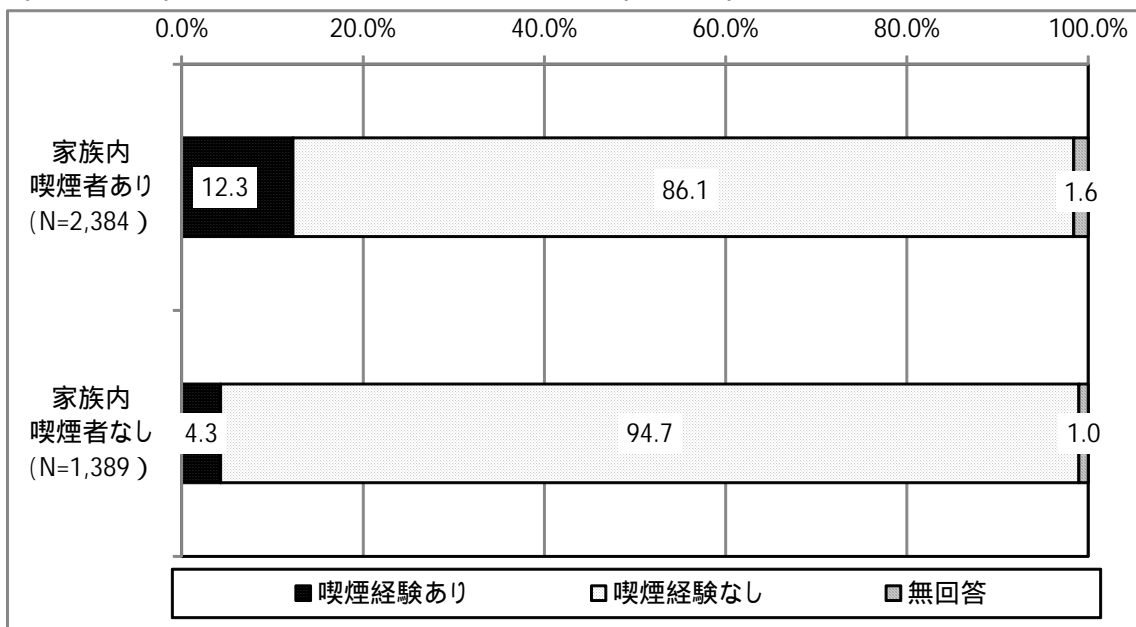
(イ) 家族の喫煙状況と中高生の喫煙状況

今回の調査で、喫煙経験者の比率は、家族内に喫煙者がいる場合に高かった。

(図 2-1-11) 家族の喫煙状況と喫煙経験の有無 (中学生)



(図 2-1-12) 家族の喫煙状況と喫煙経験の有無 (高校生)



(ウ) 成人になったときの喫煙意向

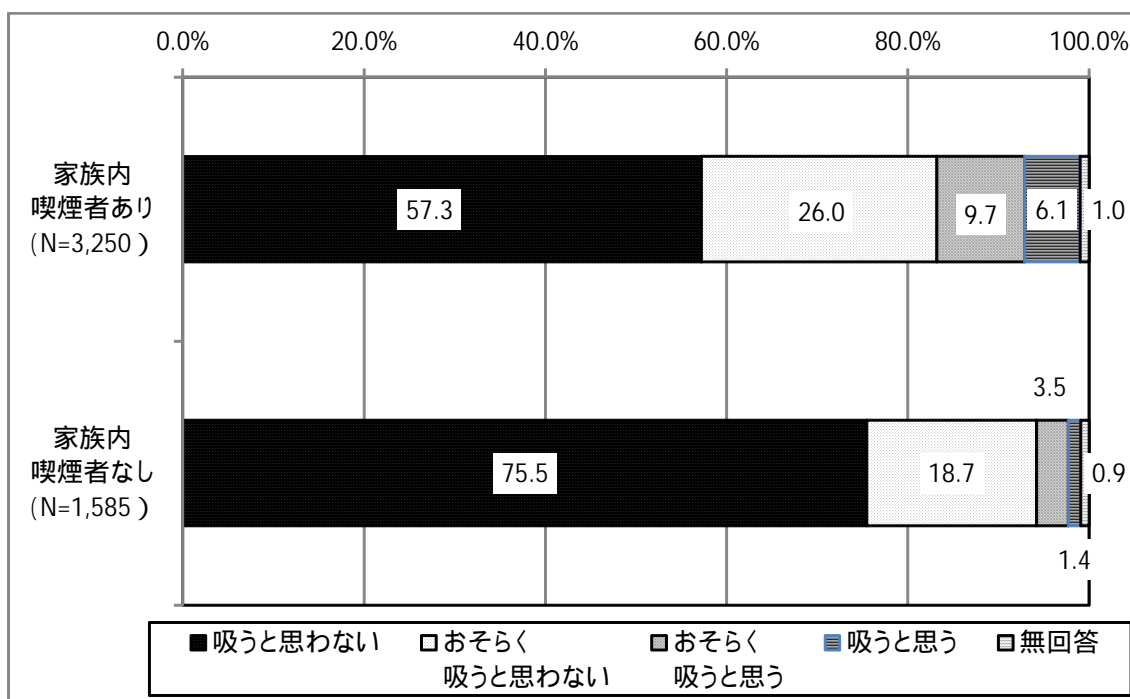
今回の調査で、「あなたが将来成人になったときには、たばこを吸うと思いますか」という質問の回答は次の通り。

(表 2-1-9) 成人になったときの喫煙意向 (人)

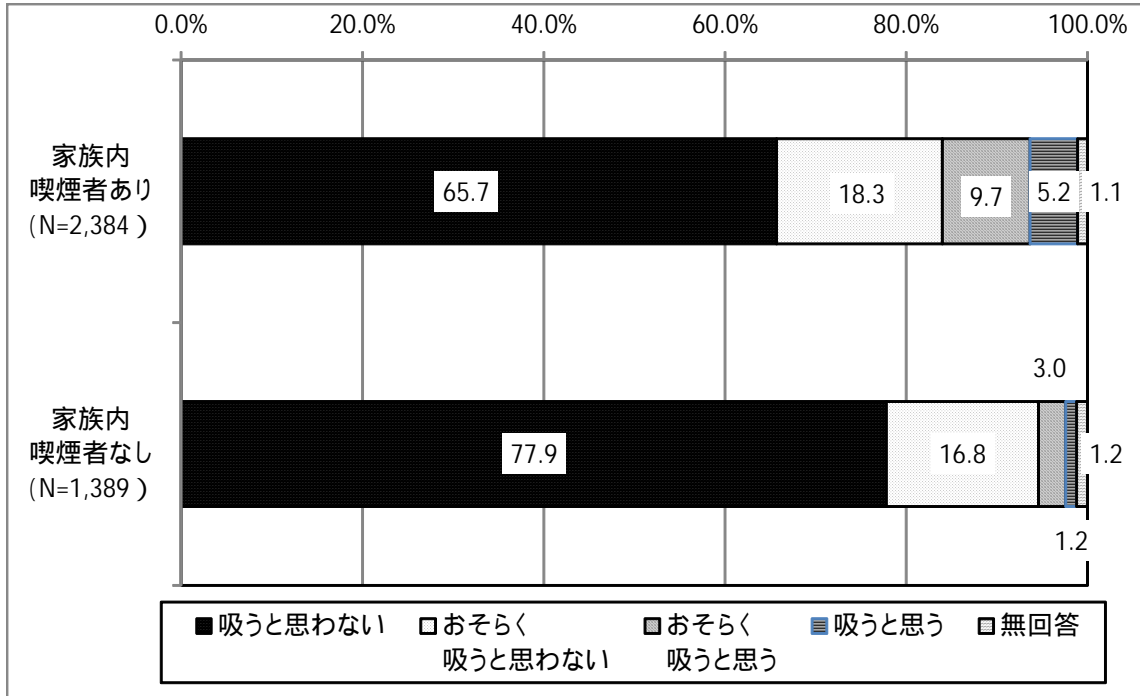
中高別	性別	吸うと思わない	おそらく吸うと思わない	おそらく吸うと思う	吸うと思う	無回答	合計
中学	男	1,200	508	165	79	24	1,976
	女	1,281	327	85	35	10	1,738
高校	男	979	356	126	60	16	1,537
	女	1,214	192	49	22	18	1,495

家族全員が非喫煙の場合、他の場合と比較してそう思わないまたはおそらくそう思わないと回答した率は高い。

(図 2-1-13) 家族の喫煙状況と成人になったときの喫煙意向 (中学生)



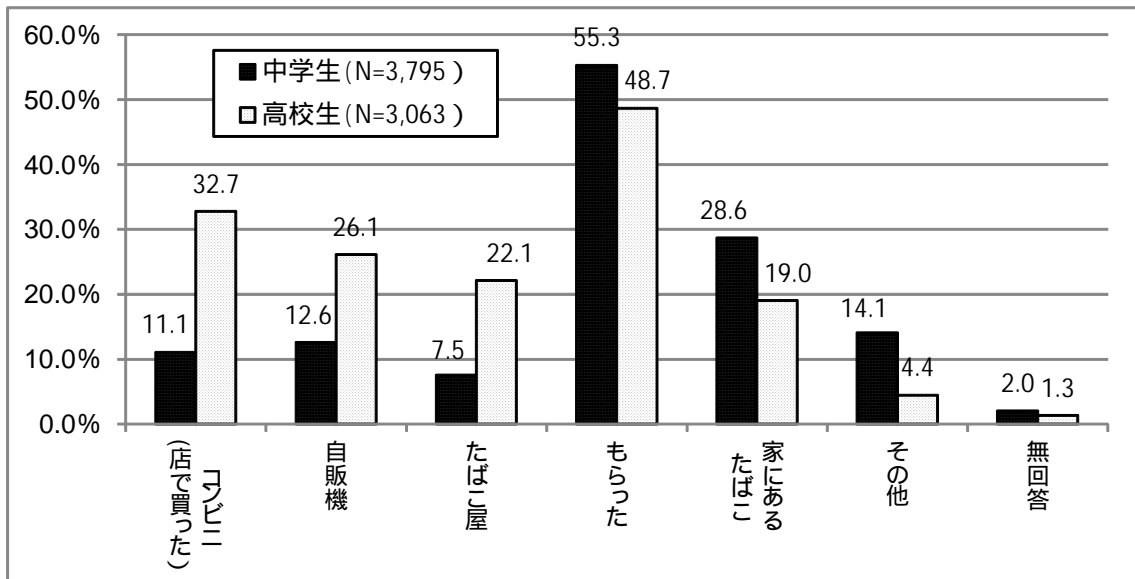
(図 2-1-14) 家族の喫煙状況と成人になったときの喫煙意向 (高校生)



エ. たばこの入手先

今回の調査で、喫煙経験者のたばこの入手先は、中学生・高校生ともに「もらった」の比率がほぼ半数を占める。次いで中学生では「家にあるたばこ」、高校生では「コンビニ」となっている。

(図 2-1-15) たばこの入手先 複数回答





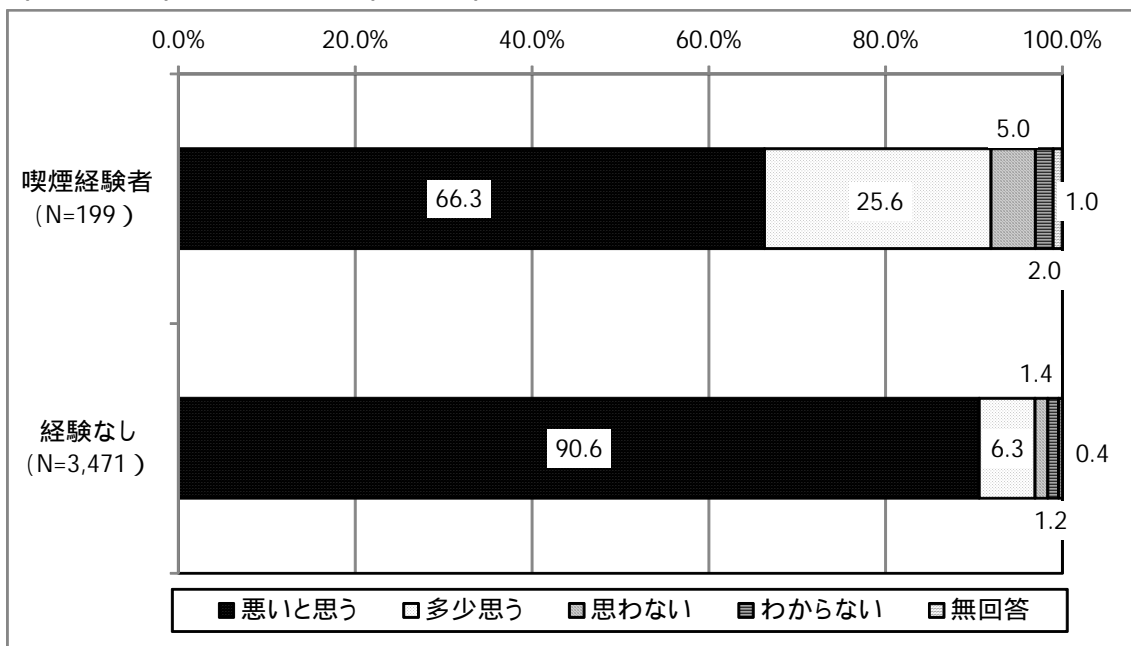
オ．たばこの有害性についての意識

(ア) 身体への影響

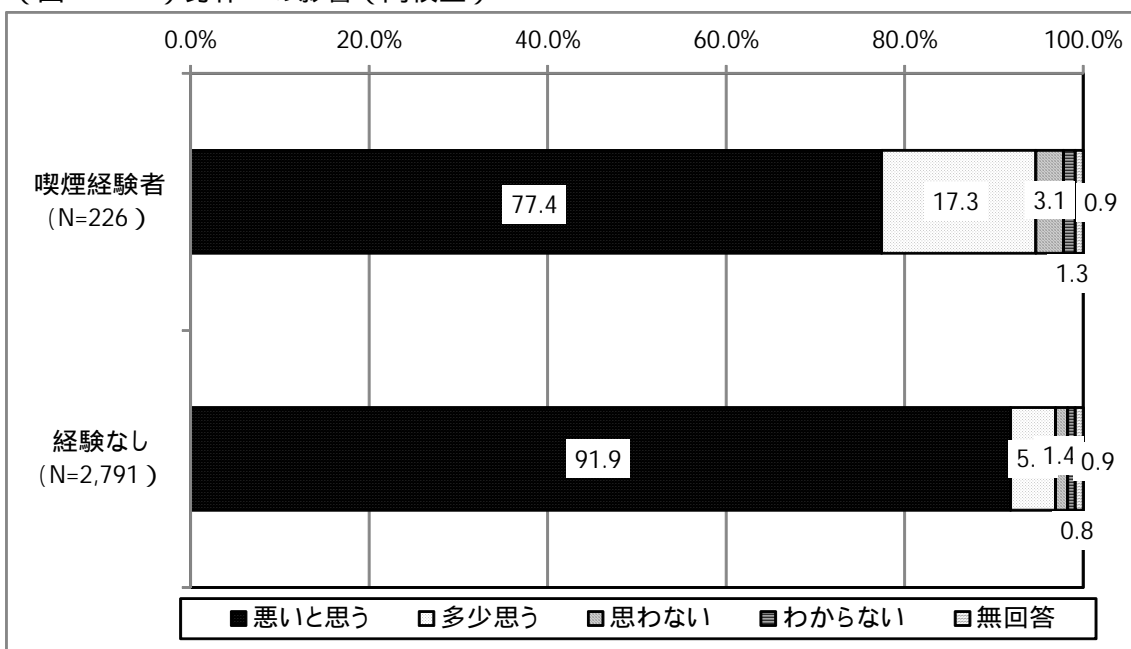
今回の調査で、たばこが自身の身体に悪いと思う者の比率は、中学生・高校生ともに喫煙経験がない者では 90% を上回っているが、喫煙経験者は比率が低くなっている。

この傾向は前回調査時と同様である。

(図 2-1-16) 身体への影響 (中学生)



(図 2-1-17) 身体への影響 (高校生)

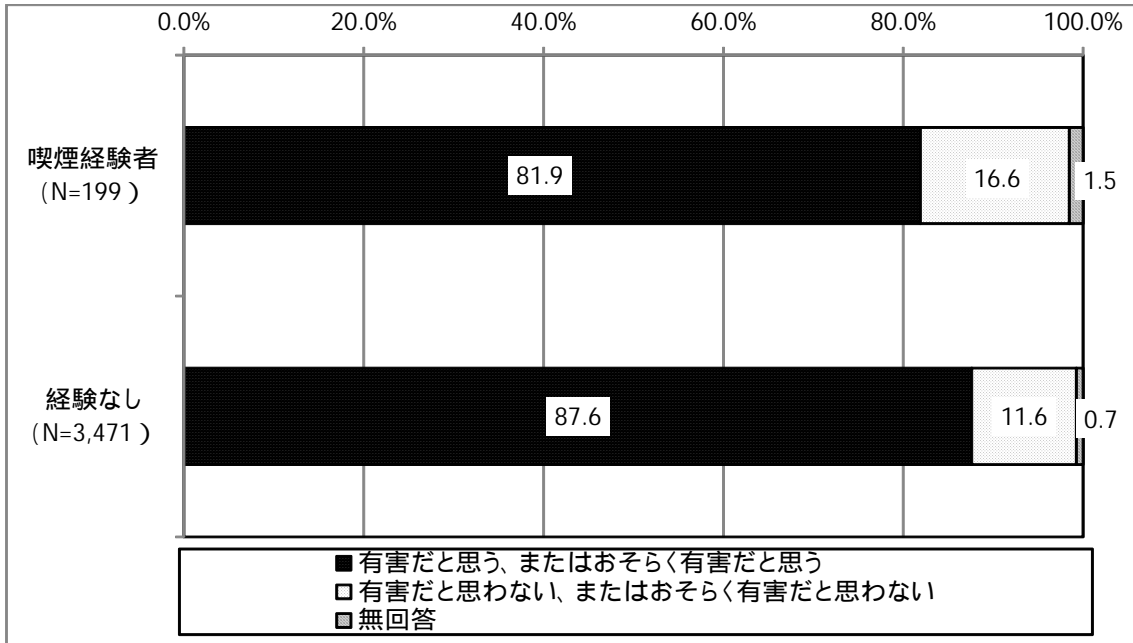


(イ) 他人からのたばこの煙の有害性についての認識

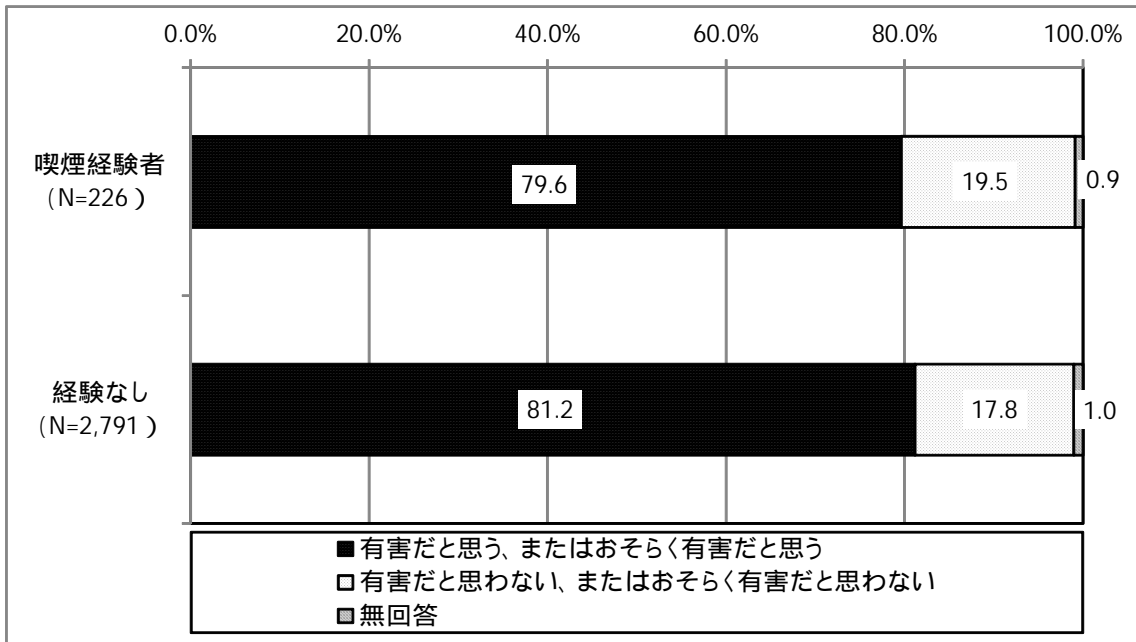
今回の調査で、他人からのたばこの煙が有害であると思う者の比率は、中学生・高校生ともに喫煙経験がない者では70%を上回っているが、喫煙経験者は低くなっている。

この傾向は前回調査時と同様である。

(図 2-1-18) 他人からのたばこの煙の有害性についての認識 (中学生)



(図 2-1-19) 他人からのたばこの煙の有害性についての認識 (高校生)

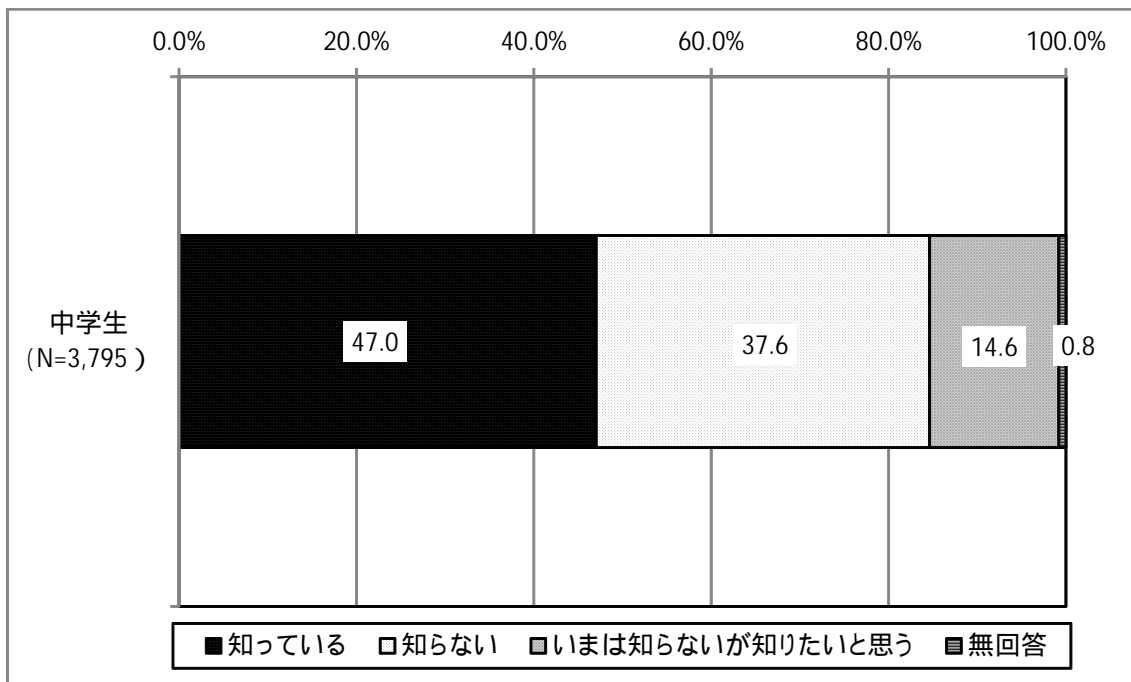


カ．禁煙治療について

(ア) 禁煙治療の認知状況 (中学生のみ)

今回の中学生への調査で、禁煙治療を知っている者の比率は、47.0%であった。

(図 2-1-20) 禁煙治療の認知度(中学生)



(イ) 禁煙治療の希望 (高校生のみ)

今回の高校生への調査で、禁煙治療を受けたいと思う者は、男女合わせて 38 人であった。

(表 2-1-10) 禁煙治療の希望(高校生) (人)

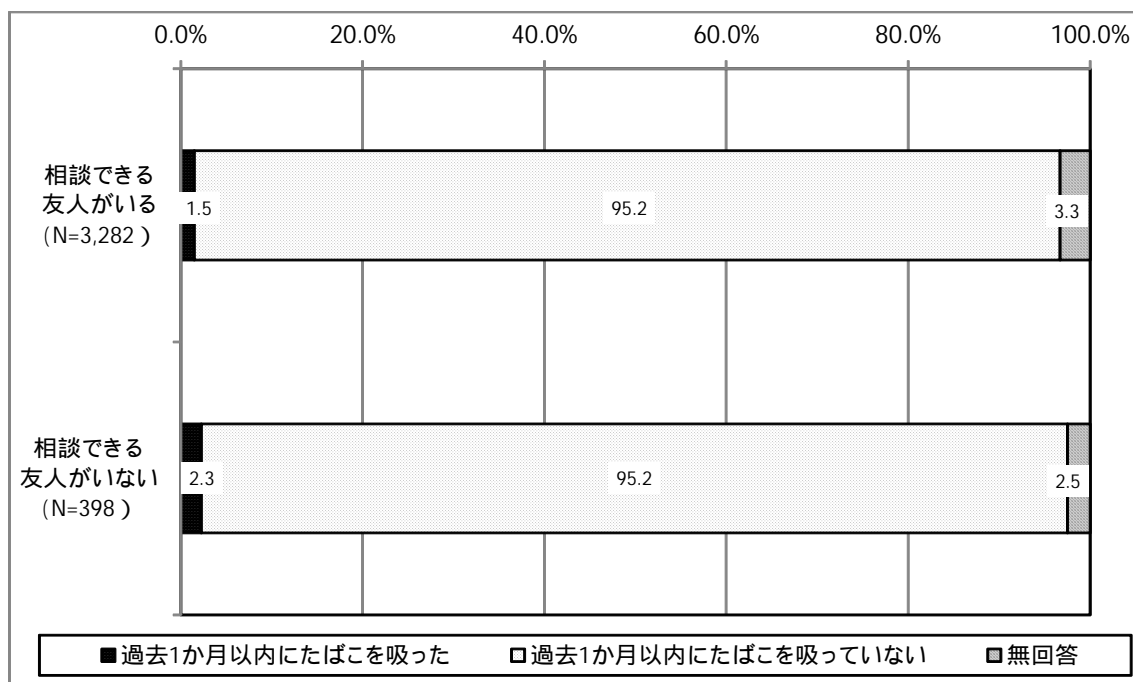
性別	たばこを吸っていない	受けたくないと思う	受けたいと思う	すでに受けたことがある	無回答	合計
男	1,318	163	28	2	26	1,537
女	1,361	104	10	0	20	1,495
無回答	24	5	0	0	2	31
計	2,703	272	38	2	48	3,063

キ．ふだんの生活と喫煙習慣との関係

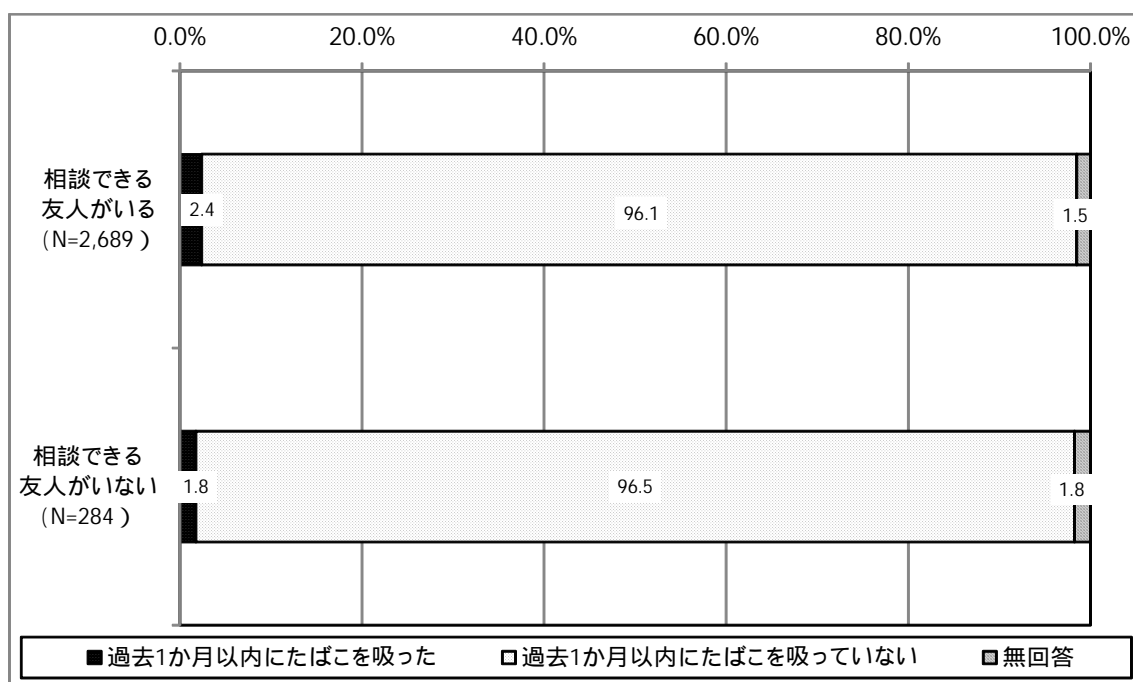
(ア) 悩み事がある時に相談できる友人の有無と、過去1か月以内の喫煙行動

今回の調査で、悩みがある時に相談できる友人の有無別に、過去1か月以内に喫煙した者の比率を見たが、はっきりした傾向は見られなかった。

(図 2-1-21) 悩み事がある時に相談できる友人の有無と過去1か月以内の喫煙行動 (中学生)



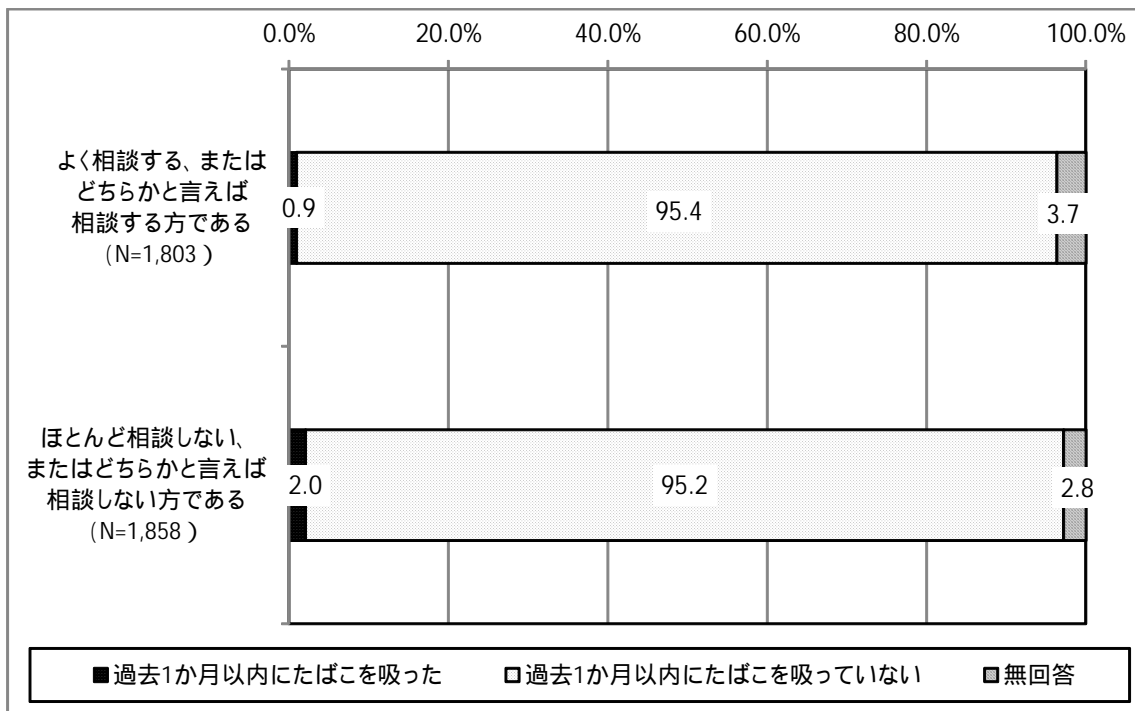
(図 2-1-22) 悩み事がある時に相談できる友人の有無と過去1か月以内の喫煙行動 (高校生)



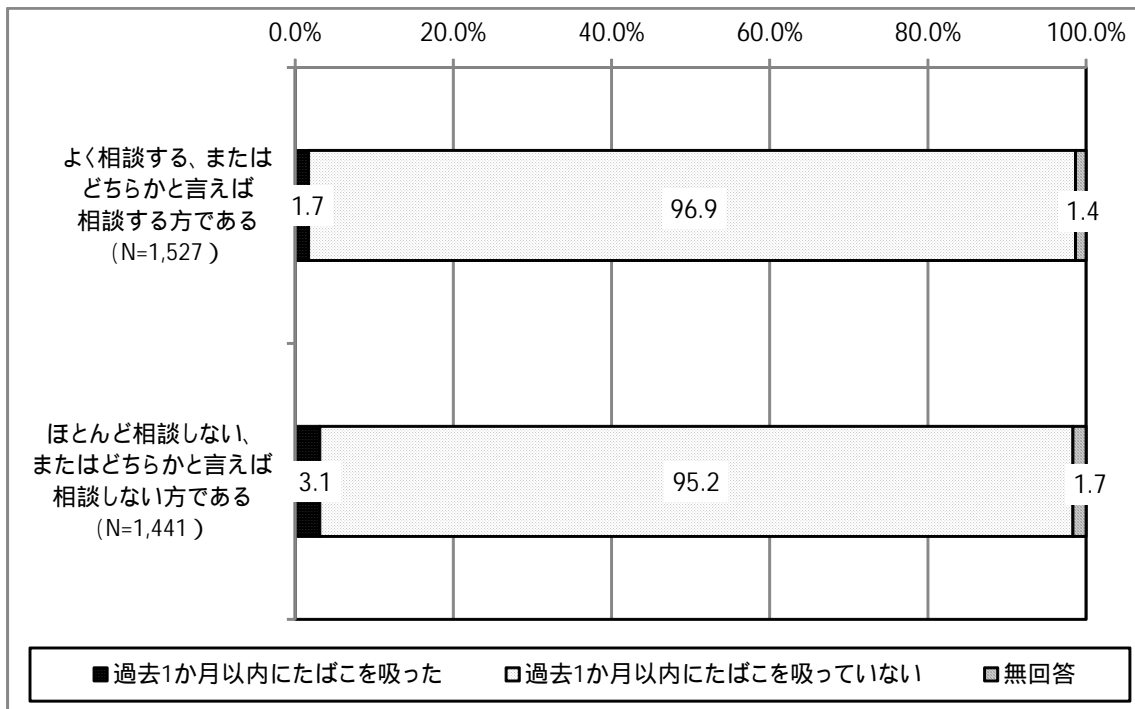
(イ) 悩み事がある時の親への相談の有無と、過去1か月以内の喫煙行動

今回の調査で、悩み事がある時の親への相談の有無別に、過去1か月以内に喫煙した者の比率を見たが、はっきりした傾向は見られなかった。

(図 2-1-23) 悩み事がある時の親への相談の有無と過去1か月以内の喫煙行動 (中学生)



(図 2-1-24) 悩み事がある時の親への相談の有無と過去1か月以内の喫煙行動 (高校生)

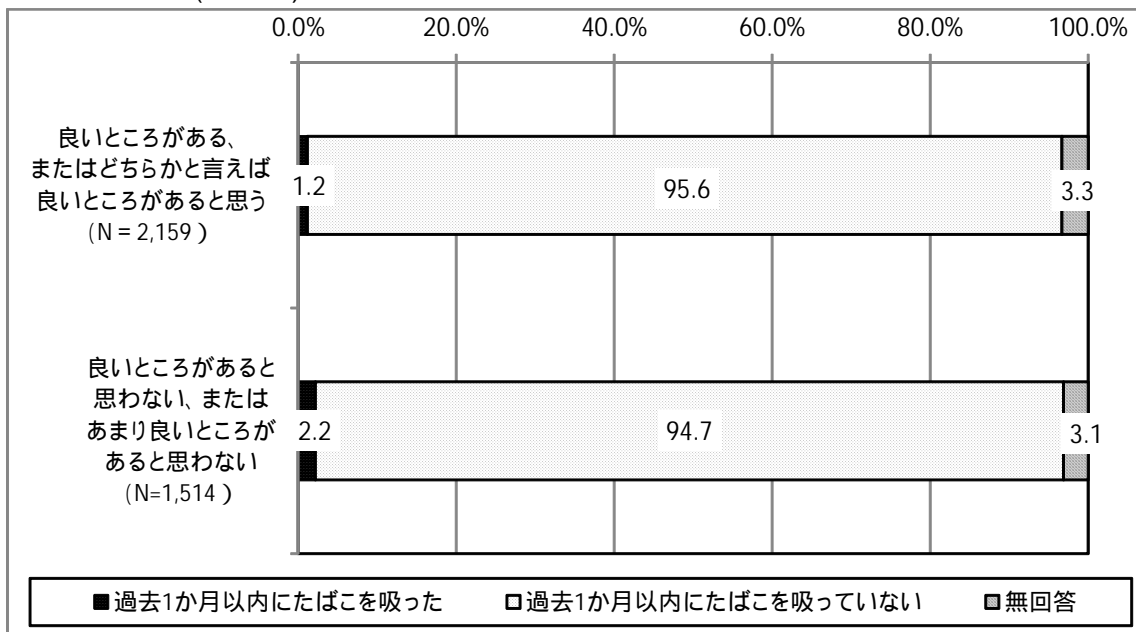


(ウ) 自分の良いところに対する認識の有無と、過去1か月以内の喫煙行動

今回の調査で、自分の良いところに対する認識の有無別に、過去1か月以内に喫煙した者の比率を見ると、中学生・高校生ともに良いところがあると思わない者で、それ以外の者に比べて、わずかに高くなっている。

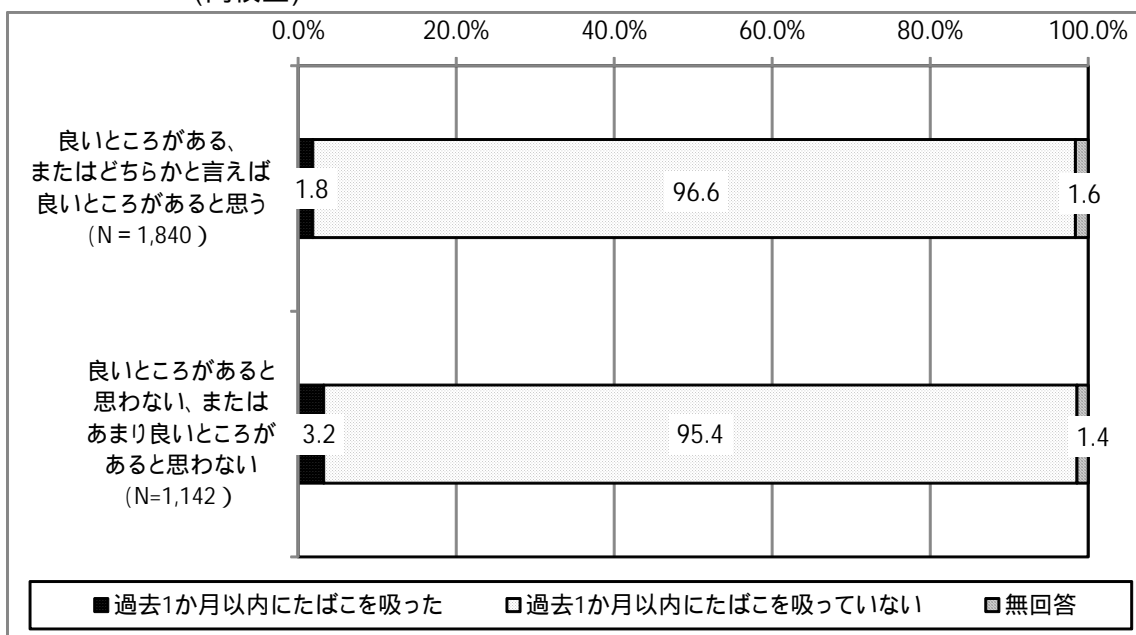
(図 2-1-25) 自分の良いところに対する認識の有無別と過去1か月以内の喫煙行動

(中学生)



(図 2-1-26) 自分の良いところに対する認識の有無と過去1か月以内の喫煙行動

(高校生)



(2) 飲酒状況

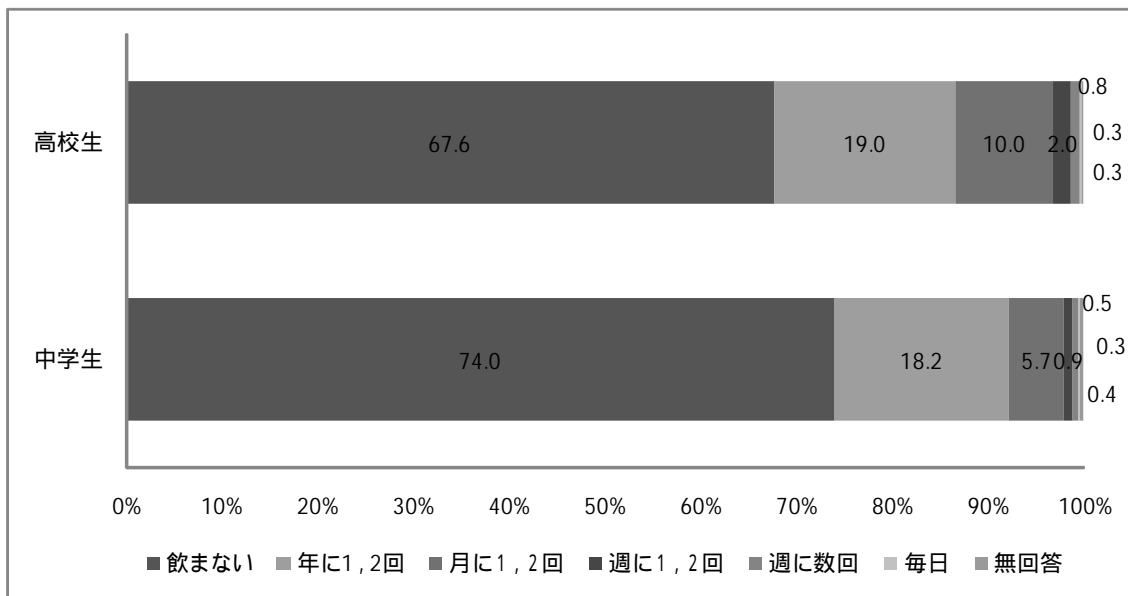
ア 過去1年でお酒を飲んだ経験

今回の調査で、過去1年でお酒を飲んでいない者の比率は、中学生・高校生の男女ともに70%前後である。全国と比較すると、中学生では低く、高校生では高い。

(表2-2-1) 過去1年でお酒を飲んだ頻度(中学生)

		あり	なし
中学生	男	525	1,421
	女	414	1,312
高校生	男	486	1,041
	女	484	1,005
計		1,909	4,779

(図2-2-1) 過去1年でお酒を飲んだ頻度



イ お酒を飲んだ経験がある生徒の過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の比率

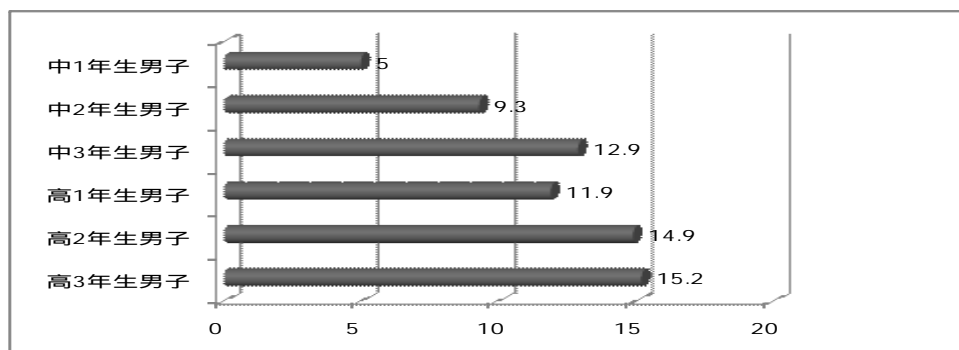
(ア) 過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の比率

今回の調査で、過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の比率は、中学1年、  
中学3年、高校1年、高校2年で男性より女性の方が高い。

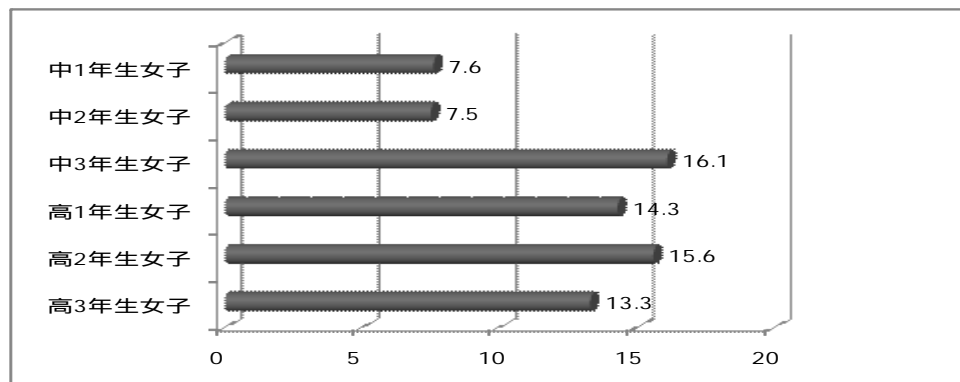
(表2-2-2) 過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の人数.

学校	学年	性別	0日	1~2日	3~5日	6~9日	10~19日	20~29日	毎日
中学生	1年生	男子	99	22	7	2	0	1	1
		女子	58	31	9	0	3	0	0
	2年生	男子	90	44	11	6	0	0	0
		女子	59	32	7	1	2	0	0
	3年生	男子	133	57	15	3	5	1	3
		女子	95	63	14	10	4	1	6
	計		534	249	63	22	14	10	10
高校生	1年生	男子	88	46	10	3	5	0	1
		女子	80	49	13	5	4	0	1
	2年生	男子	75	44	15	5	5	0	1
		女子	74	53	10	10	2	2	0
	3年生	男子	82	47	15	6	7	3	1
		女子	93	48	13	2	2	1	0
	計		492	287	76	31	25	6	4

(図2-2-3) 過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の比率(男子中高生)



(図2-2-4) 過去1か月で1回でも飲酒したことがある者の比率(女子中高生)

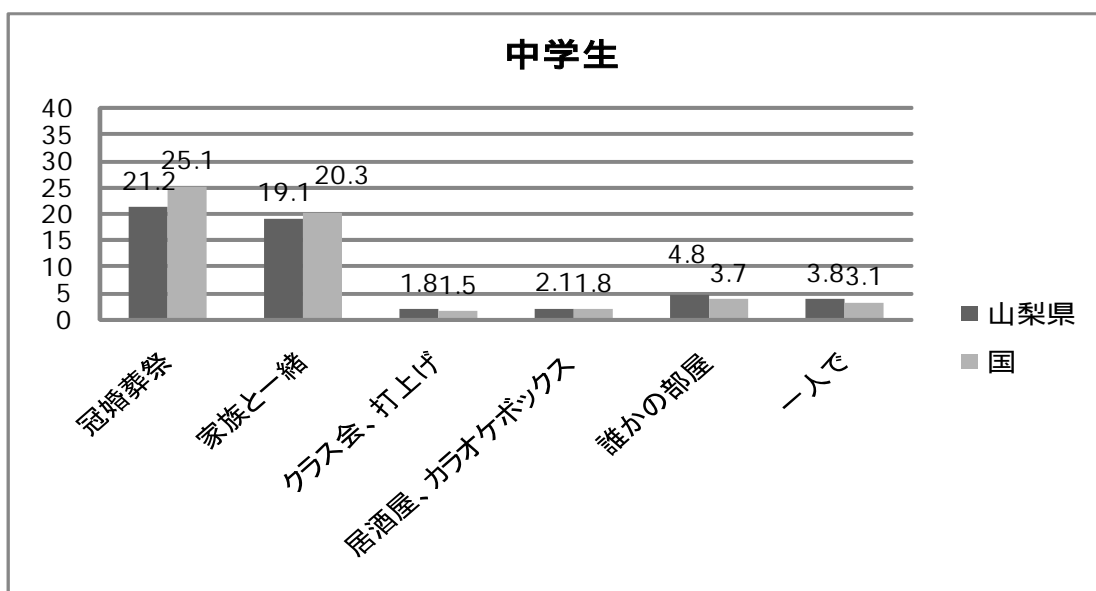




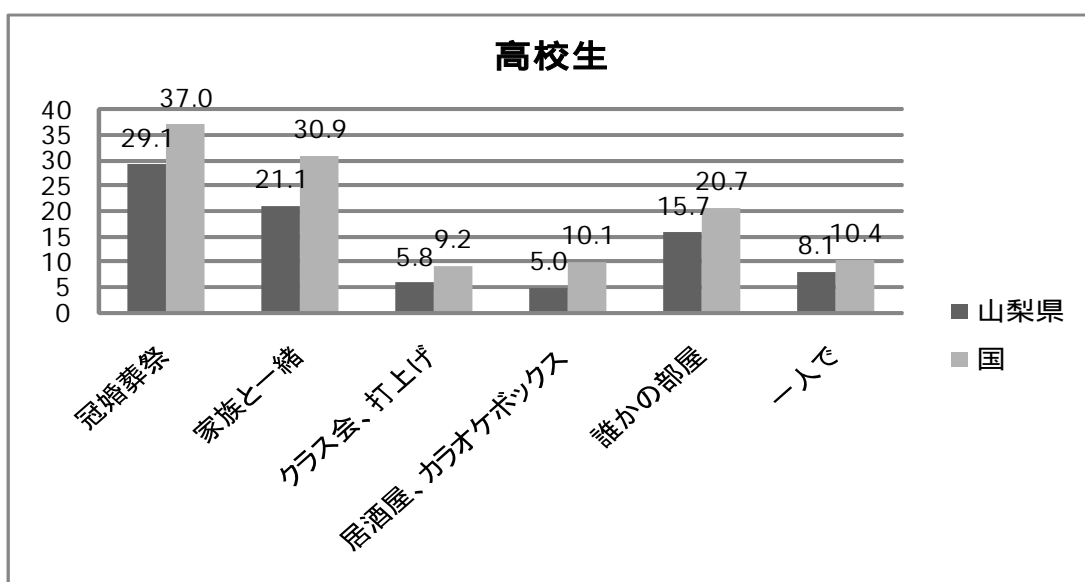
(イ) お酒を飲んだことがある場面

飲酒経験者でお酒を飲んだことがある場面については、中学生・高校生ともに冠婚葬祭や家族の食事の時という回答の率が多い。この傾向は全国と同様であった。

(図 2-2-4) お酒を飲んだことがある場面 (中学生) 複数回答



(図 2-2-5) お酒を飲んだことがある場面 (高校生) 複数回答



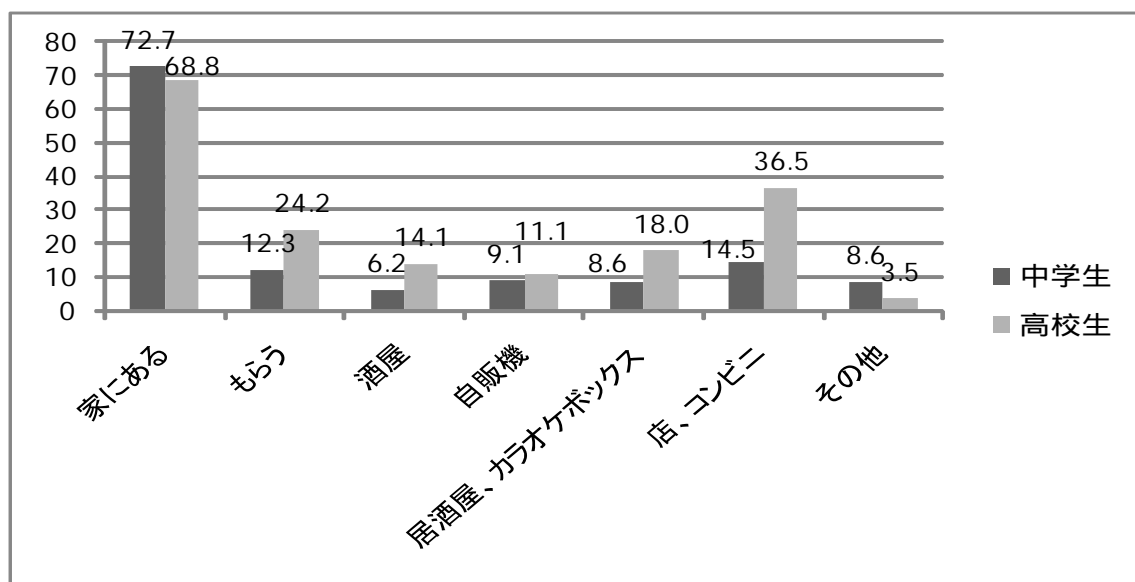
(ウ) お酒の入手先

今回の調査で、お酒の入手先は、過去1か月で1回でもお酒を飲んだことがある者で、中学生・高校生ともに「家にある」の比率が最も高く70%前後を占め、次いで「店(コンビニ)で買う」という結果であった。

(表2-2-3) 過去1か月で1回でも飲酒したことがある者のお酒の入手先 複数回答

学校	学年	性別	家にある	もらう	酒屋	自販機	居酒屋、カラオケボックス	店、コンビニ	その他
中学生	1年生	男子	110	8	4	3	13	14	65
		女子	106	9	4	1	9	13	39
	2年生	男子	147	13	6	14	10	16	43
		女子	113	13	4	1	9	11	32
	3年生	男子	182	23	17	23	17	27	40
		女子	189	30	15	18	16	35	39
	計			847	96	50	60	74	116
高校生	1年生	男子	139	36	8	19	10	33	22
		女子	150	44	12	10	15	34	23
	2年生	男子	133	45	19	17	18	44	11
		女子	147	44	11	13	19	41	20
	3年生	男子	139	35	27	7	22	68	13
		女子	154	46	16	14	43	57	14
	計			862	250	93	80	127	277

(図2-2-6) お酒の入手先(中学生、過去1か月以内にお酒を飲んだ者) 複数回答



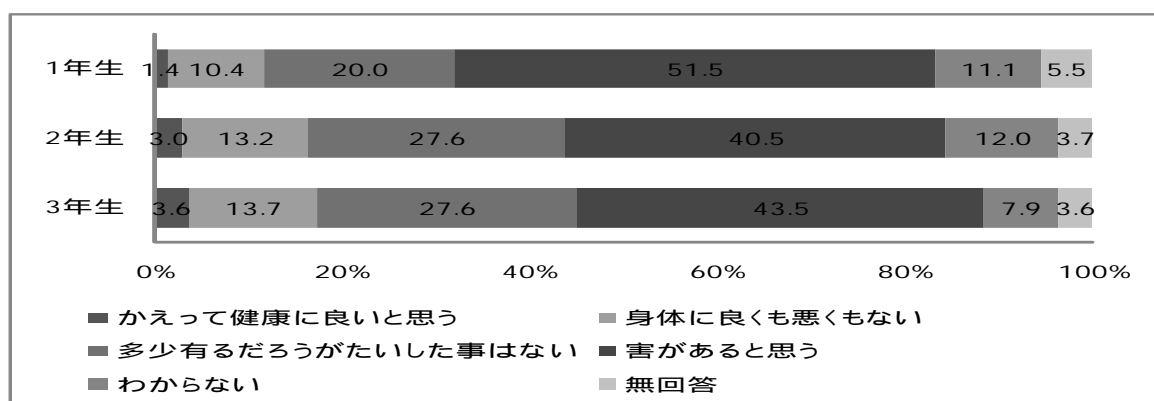
## ウ 身体へのお酒の影響についての認識

今回の調査で、身体に害があると認識している者は、中学生・高校生ともに、過去1年以内に飲酒していない者でも50%を下回っており、飲酒頻度が多くなるにつれて低くなっている。

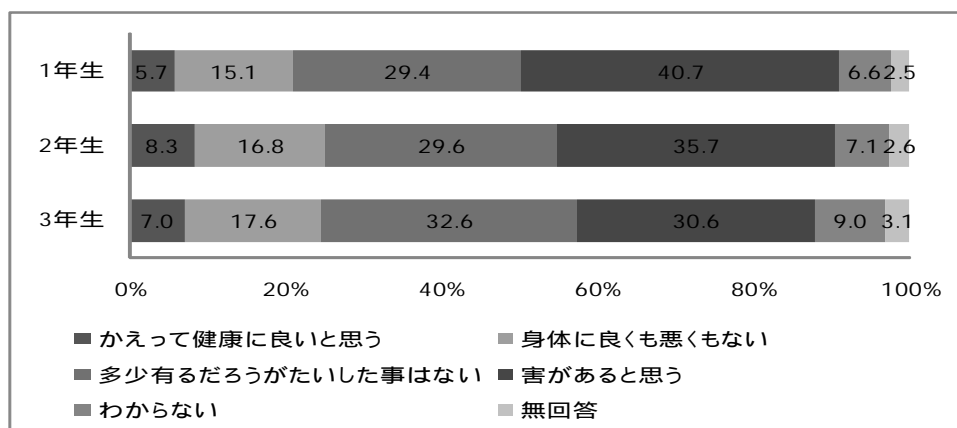
(表 2-2-4) 身体へのお酒の影響

学校	学年	かえって健康に良いと思う	身体に良くも悪くもない	多少有るだろうがたいした事はない	害があると思う	わからない	無回答
中学生	1年生	17	130	250	642	139	69
	2年生	38	165	345	506	150	46
	3年生	47	176	356	560	102	47
	計	102	471	951	1708	391	162
高校生	1年生	60	160	311	430	70	26
	2年生	81	164	289	348	69	25
	3年生	72	181	335	315	93	32
	計	213	505	935	1093	232	83

(図 2-2-7) 身体へのお酒の影響 (中学生)



(図 2-2-8) 身体へのお酒の影響 (高校生)



## エ お酒を勧められたときに自信を持って断れるか

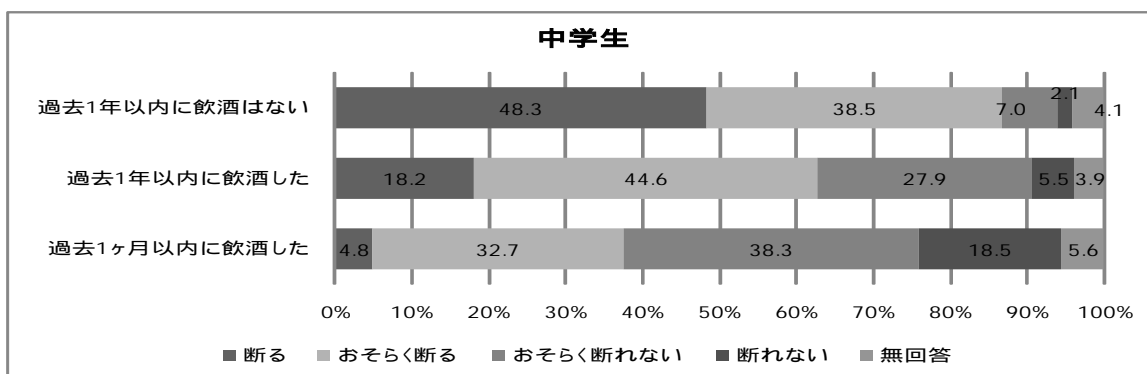
今回の調査で、お酒を勧められたときに自信を持って断れるという者は、中学生で、過去1年以内に飲酒していない者では「断る」の比率が半分近くあるが、飲酒頻度が多くなるにつれて低くなっている。

この傾向は高校生でも同様であるが、同じ過去1年以内に飲酒していない者であっても、中学生より高校生の方が「断る」の比率が低い。

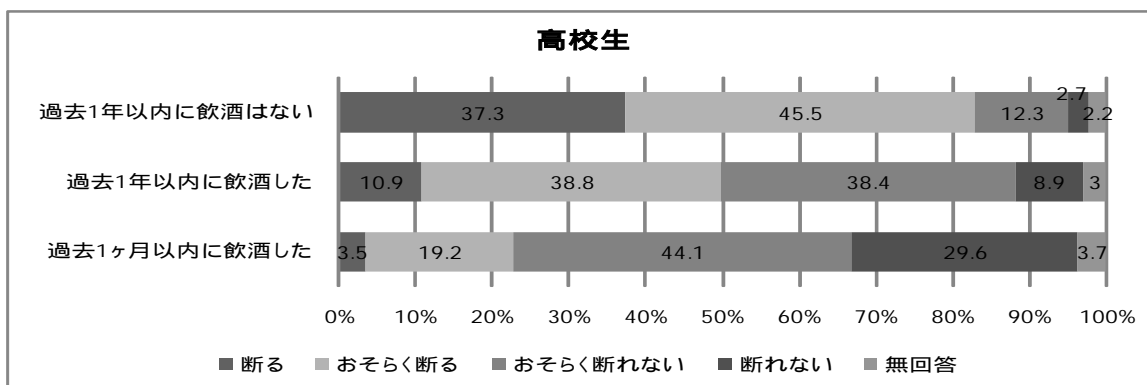
(表 2-2-5)

		断る	おそらく断る	おそらく断れない	断れない	無回答
中学生	男	753	763	251	96	113
	女	707	673	238	66	54
	計	1,460	1,436	489	162	167
高校生	男	433	623	291	133	57
	女	407	606	362	99	21
	計	840	1,229	653	232	78

(図 2-2-9) お酒を勧められたときに自信を持って断れるか (中学生)



(図 2-2-10) お酒を勧められたときに自信を持って断れるか (高校生)



### (3) 薬物

#### ア 薬物の知識

##### (ア) 知っている薬物

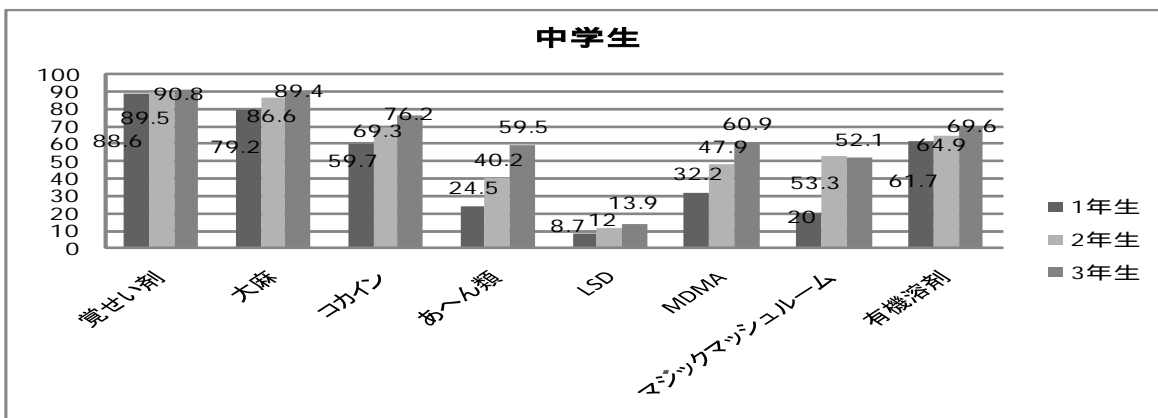
今回の調査で、知っている薬物は中学生・高校生ともに「覚せい剤」「大麻」の比率が特に多く、「LSD」は低い。

高校生は学年による差はないが薬物の種類により知識に差がある。

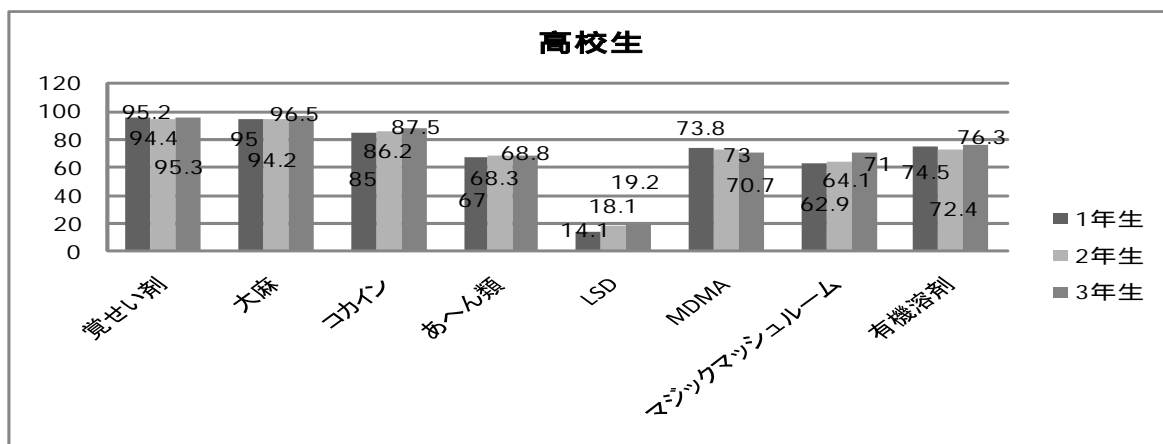
(表 2-3-1)

		覚せい剤	大麻	コカイン	あへん類	LSD	MDMA	マジックマッシュルーム	有機溶剤	知っているものはない
中学生	男子	1,748	1,653	1,424	912	289	976	921	1,272	81
	女子	1,581	1,507	1,117	630	137	778	635	1,161	54
	無回答	70	66	57	34	11	32	33	48	
	計	3,399	3,226	2,598	1,576	437	1,786	1,589	2,481	135
高校生	男子	1,441	1,457	1,349	1,111	334	1,131	1,086	1,134	29
	女子	1,440	1,439	1,264	954	187	1,067	916	1,125	6
	無回答	26	26	25	17	2	21	19	19	
	計	2,907	2,922	2,638	2,082	523	2,219	2,021	2,278	35

(図 2-3-1) 知っている薬物 (中学生) 複数回答



(図 2-3-2) 知っている薬物 (高校生) 複数回答



(イ) 薬物の害に関する知識

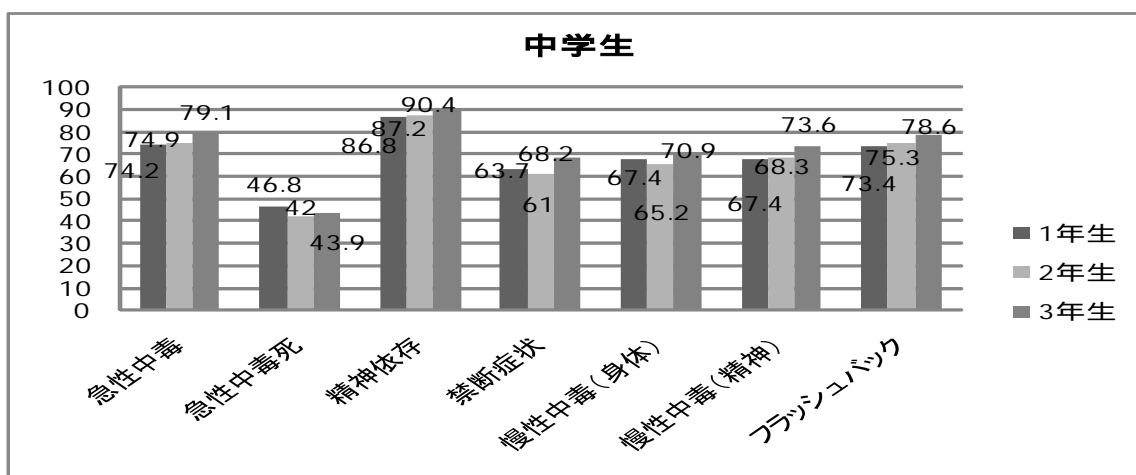
今回の調査で、知っている薬物の害については、中学生・高校生ともに「精神依存」「急性中毒」の比率が特に多く、「急性中毒死」が低い。

中学生に比べて、高校生の方が全体的に認知度は高い。

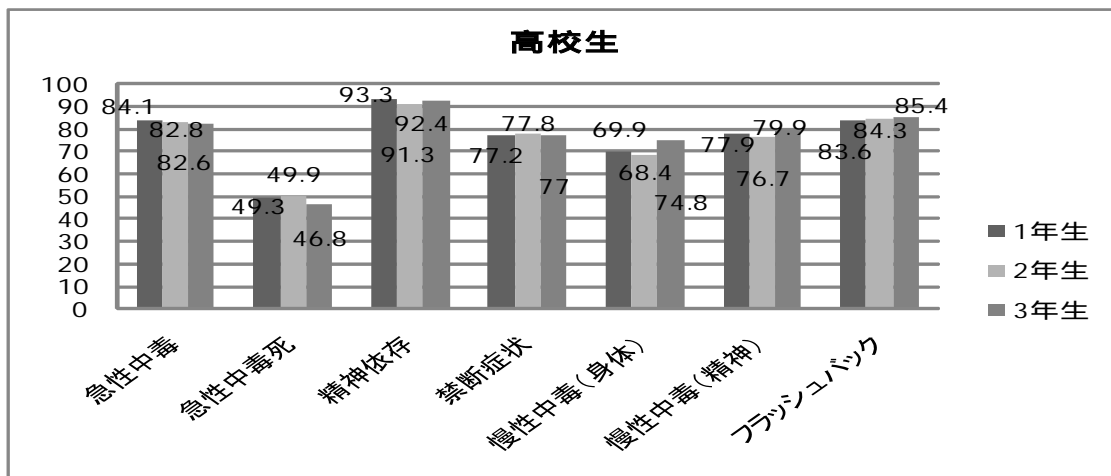
(表 2-3-2) 知っている薬物の害

		急性中毒	急性中毒死	精神依存	禁断症状	慢性中毒(身体)	慢性中毒(精神)	フラッシュバック	知らない
中学生	男子	1,407	847	1,666	1,204	1,299	1,343	1,436	133
	女子	1,415	802	1,606	1,188	1,226	1,254	1,376	45
	無回答	62	30	70	48	47	49	62	4
	計	2,884	1,679	3,342	2,440	2,572	2,646	2,874	182
高校生	男子	1,240	746	1,371	1,125	1,049	1,143	1,250	42
	女子	1,285	729	1,432	1,221	1,106	1,227	1,312	11
	無回答	21	14	24	20	21	23	23	2
	計	2,546	1,489	2,827	2,366	2,176	2,393	2,585	55

(図 2-3-3) 知っている薬物の害(中学生) 複数回答



(図 2-3-4) 知っている薬物の害(高校生) 複数回答



(ウ) 薬物の害についての情報源

今回の調査で、薬物の害についての情報源は、中学生では「テレビ」と「学校の授業」の比率が高く「家庭」も有力な情報源になっている。一方、高校生では、中学生に比べて「テレビ」が低くなり、学校の授業、学校で実施された薬物乱用防止教室のビデオや講演の比率が高くなっている。

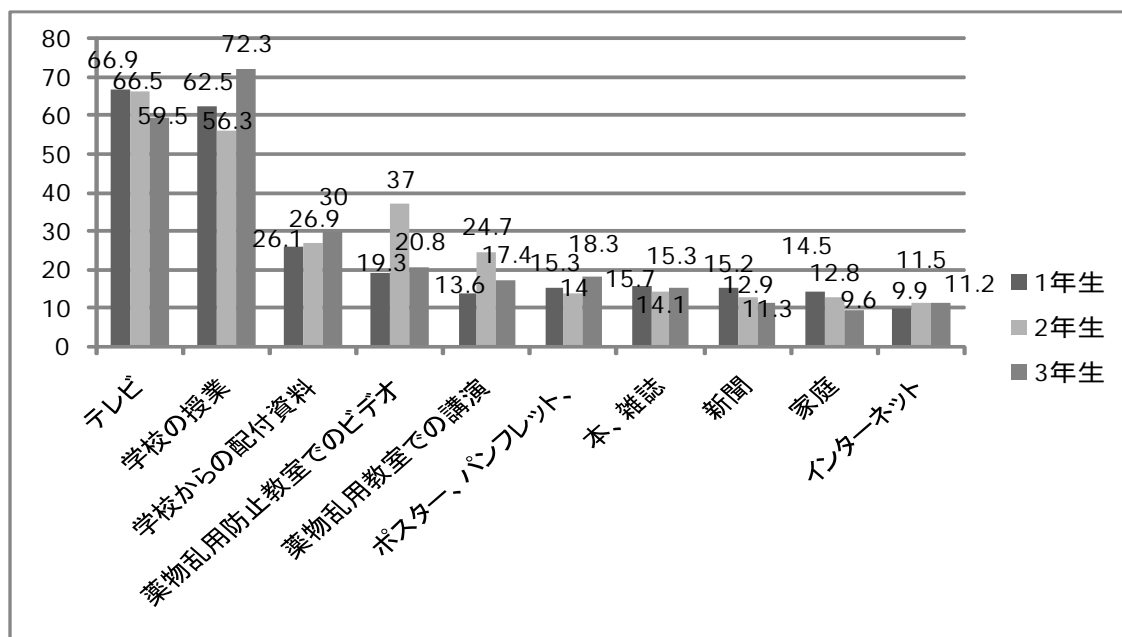
(表 2-3-3) 薬物の害についての情報源 (中学生) 複数回答

情報源	学校の授業	学校からの配付資料	薬物乱用防止教室でのビデオ	薬物乱用教室での講演	友達、仲間等	家庭	ポスター、パンフレット、
1年生	733	306	226	160	73	170	179
2年生	654	312	430	287	69	149	163
3年生	887	368	255	214	79	118	224
計	2,274	986	911	661	221	437	566

本、雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯電話	その他
184	178	785	19	116	22	43
164	150	772	23	133	39	28
188	139	730	18	138	43	26
536	467	2,287	60	387	104	97

(図 2-3-5) 薬物の害についての情報源 (中学生、学年別)

複数回答、全体の上位 10 項目のみ



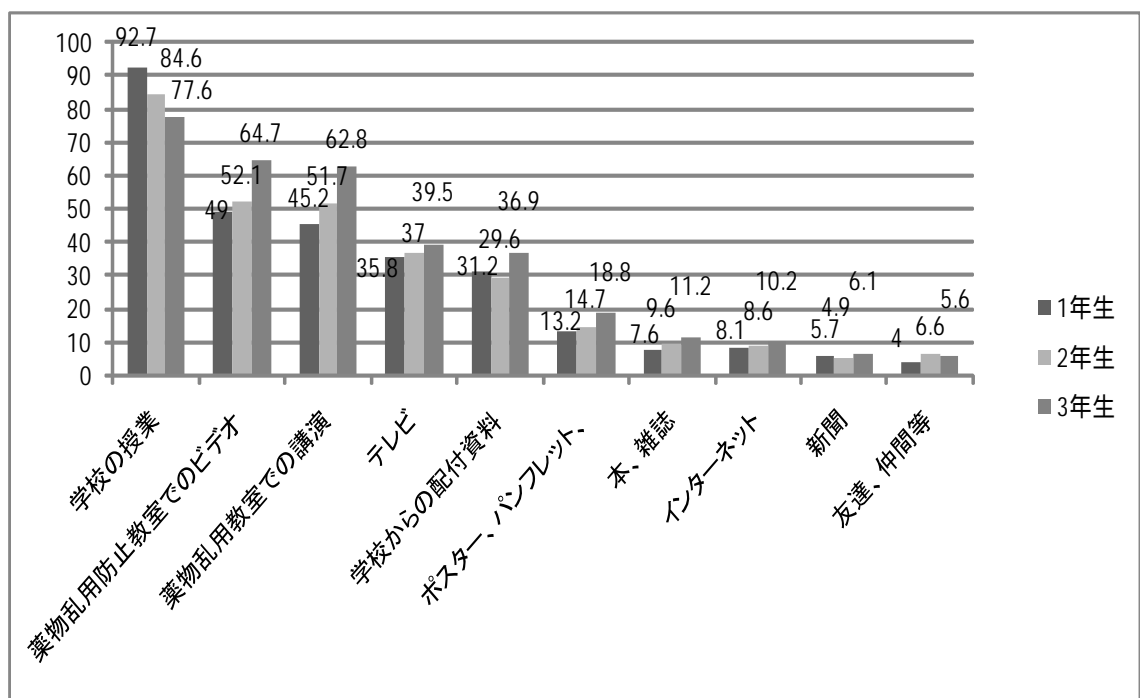
(表 2-3-4) 薬物の害についての情報源 (高校生) 複数回答

情報源	学校の授業	学校からの配付資料	薬物乱用防止教室でのビデオ	薬物乱用教室での講演	友達、仲間等	家庭	ポスター、パンフレット、
1年生	958	322	506	467	41	52	136
2年生	802	281	494	490	63	41	139
3年生	767	365	640	621	55	39	186
計	2,527	968	1,640	1,578	159	132	461

本、雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯電話	その他
78	59	370	10	84	18	4
91	46	351	7	82	30	8
111	60	391	9	101	39	8
280	165	1,112	26	267	87	20

(図 2-3-6) 薬物の害についての情報源 (高校生、学年別)

複数回答、全体の上位 10 項目のみ





イ 薬物の使用に対する意識

(ア) 自分が使うことに対する考え

今回の調査で、中学生・高校生ともに、許されることでないと考える者の比率が90%を上回っているが、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と考える人は中学2年、中学3年、高校3年で約5%いる。

(表 2-3-5) 自分で使うことに対する考え (中学生)

中学生	どのような理由であ れ絶対使うべきで はないし許されない	1回くらいなら心身 への害がないので 使っても構わない	他人に迷惑はかけ ていないので使うか どうかは個人の自由	その他	無回答
1年生	1,187	7	30	16	7
2年生	1,153	4	58	19	16
3年生	1,178	6	61	29	14
計	3,518	17	149	64	37
	92.9	0.4	4.0	1.7	1.0

(表 2-3-6) 自分で使うことに対する考え (高校生)

高校生	どのような理由であ れ絶対使うべきで はないし されない	1回くらいなら心身 への害がないので 使っても ない	他人に迷惑はかけ ていないので使うか うかは 人 由	その他	無回答
1年生	1,014	3	26	9	5
2年生	921	2	36	14	3
3年生	946	5	55	18	4
計	2,881	10	117	41	12
	94.1	0.3	3.8	1.3	0.5

(イ) 薬物の使用を誘われた時の行動

今回の調査で、中学生・高校生ともに、誰であろうと断ると考える者の比率が 80% を上回っているが、「誘った相手によっては、断りきれないかもしれない」と考える人は高校 3 年以外で 5% を上回っている。

(表 2-3-7) 使用を誘われた時の行動 (中学生)

中学生	誘った相手が誰であろうと断る	誘った相手によっては断りきれないかもしれない	1回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	悩み事があったり疲れていたりしたら断らないかもしれない	わからない	その他	無回答
1年生	1,079	69	7	10	22	69	49	18
2年生	1,062	81	10	10	25	66	41	26
3年生	1,094	74	7	18	28	72	40	29
計	3,235	224	24	38	75	207	130	73
	85.4	6.0	0.6	1.0	2.0	5.5	3.4	2.0

(表 2-3-8) 使用を誘われた時の行動 (高校生)

高校生	誘った相手が誰であろうと断る	誘った相手によっては断りきれないかもしれない	1回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	悩み事があったり疲れていたりしたら断らないかもしれない	わからない	その他	無回答
1年生	951	64	4	6	24	39	9	7
2年生	880	60	3	7	26	28	4	5
3年生	922	42	7	6	17	48	8	6
計	2,753	166	14	19	67	115	21	18
	89.9	5.4	0.5	0.6	2.2	3.8	0.7	0.7

(4) 心身(生命)を尊重する意識

ア 悩み事がある時、相談事のできる友人がいるか

今回の調査で、悩み事がある時、相談事のできる友人がいると回答した者の比率は、中学生・高校生ともに85%を上回っている。

(表2-4-1) 悩み事がある時、相談事のできる友人がいるか(中学生)

中学生		いる	いない	無回答
男子	1年生	546	84	31
		82.6	12.7	4.7
	2年生	532	102	25
		80.7	15.5	3.8
	3年生	550	81	20
84.5		12.4	3.1	
計	1,628	267	76	
		82.6	13.5	3.8
女子	1年生	510	43	13
		90.1	7.6	2.3
	2年生	523	32	7
		93.1	5.7	1.2
	3年生	549	49	12
90.0		8.0	2.0	
計	1,582	124	32	
		91.0	7.1	1.8
合計		3,210	391	108
		86.5	10.5	3.0

(表2-4-2) 悩み事がある時、相談事のできる友人がいるか(高校生)

高校生		いる	いない	無回答
男子	1年生	471	57	18
		86.3	10.4	3.3
	2年生	396	55	19
		84.3	11.7	4.0
	3年生	427	67	27
82.0		12.9	5.2	
計	1,294	179	64	
		84.2	11.6	4.2
女子	1年生	460	37	7
		91.3	7.3	1.4
	2年生	454	33	7
		91.9	6.7	1.4
	3年生	454	33	10
91.3		6.6	2.0	
計	1,368	103	24	
		91.5	6.9	1.6
合計		2,662	282	88
		87.8	9.3	2.9

イ 悩み事がある時、親と相談するか

今回の調査で、悩み事がある時、親と「よく相談する方である」または「どちらかと言えば相談する方である」と回答した者の比率は、中学生・高校生ともに約半数である。

(表 2-4-3) 悩み事がある時、親と相談するか (中学生)

中学生		よく相談する	どちらかと言えば相談する	どちらかと言えば相談しない	ほとんど相談しない	親がいない	無回答
男子	1年生	113	167	124	223	1	33
		17.1	25.3	18.8	33.7	0.2	5.0
	2年生	81	155	127	263	2	31
		12.3	23.5	19.3	39.9	0.3	4.7
	3年生	105	160	119	246	1	20
		16.1	24.6	18.3	37.8	0.2	3.1
計	299	267	370	732	267	84	
		15.1	24.5	18.8	37.1	0.2	4.3
女子	1年生	147	187	102	117	1	12
		26.0	33.0	18.0	20.7	0.2	2.1
	2年生	135	164	96	158	0	9
		24.0	29.2	17.1	28.1	0.0	1.6
	3年生	158	188	87	161	4	12
		25.9	30.8	14.3	26.4	0.7	2.0
	計	440	539	285	436	5	33
		25.3	31.0	16.4	25.1	0.3	1.9
合計	739	806	655	1,168	272	117	
	19.8	27.7	17.5	31.4	0.3	3.3	

(表 2-4-4) 悩み事がある時、親と相談するか (高校生)

高校生		よく相談する	どちらかと言えば相談する	どちらかと言えば相談しない	ほとんど相談しない	親がいない	無回答
男子	1年生	73	145	104	203	1	20
		13.4	26.6	19.0	37.2	0.2	3.7
	2年生	69	131	102	151	3	14
		14.7	27.9	21.7	32.1	0.6	3.0
	3年生	78	134	115	167	3	24
		15.0	25.7	22.1	32.1	0.6	4.6
計	220	410	321	521	7	58	
		14.3	26.7	20.9	33.9	0.5	3.8
女子	1年生	122	175	81	116	0	10
		24.2	34.7	16.1	23.0	0.0	2.0
	2年生	116	175	85	108	1	9
		23.5	35.4	17.2	21.9	0.2	1.8
	3年生	139	157	76	117	1	7
		28.0	31.6	15.3	23.5	0.2	1.4
	計	377	507	242	341	2	26
		25.2	33.9	16.2	22.8	0.1	1.7
合計	597	917	563	862	9	84	
	19.7	30.1	18.5	28.5	0.3	2.8	

ウ 自分には良いところがあると思うか

今回の調査で、自分には良いところがあると「そう思う」または「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の比率は、中学生で約半数、高校生で約6割である。

また、中学2年は他の学年と比べて「そう思わない」の比率が高い。

(表2-4-5) 自分には良いところがあると思うか(中学生)

中学生		そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
男子	1年生	179	198	187	64	33
		27.1	30.0	28.3	9.7	5.0
	2年生	145	230	172	84	28
		22.0	34.9	26.1	12.7	4.2
	3年生	173	244	156	56	22
26.6		37.5	24.0	8.6	3.4	
計	497	672	515	204	83	
		25.2	40.0	26.2	10.3	4.2
女子	1年生	109	202	188	56	11
		19.3	35.7	33.2	9.9	1.9
	2年生	61	218	201	73	9
		10.9	38.8	35.8	13.0	1.6
	3年生	131	214	183	69	13
21.5		35.1	30.0	11.3	2.1	
計	301	634	572	198	33	
		17.3	36.5	32.9	11.4	1.9
合計		798	1,306	1,087	402	116
		21.6	35.3	29.2	10.7	3.2

(表2-4-6) 自分には良いところがあると思うか(高校生)

高校生		そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
男子	1年生	142	204	157	25	18
		26.0	37.4	28.8	4.6	3.3
	2年生	107	185	122	40	16
		22.8	39.4	26.0	8.5	3.4
	3年生	156	184	118	39	24
29.9		35.3	22.6	7.5	4.6	
計	405	573	397	104	58	
		26.4	37.3	25.8	6.8	3.8
女子	1年生	101	178	172	46	7
		20.0	35.3	34.1	9.1	1.4
	2年生	72	189	182	44	7
		14.6	38.3	36.8	8.9	1.4
	3年生	111	193	147	39	7
22.3		38.8	29.6	7.8	1.4	
計	284	560	501	129	21	
		19.0	37.5	33.5	8.6	1.4
合計		689	1,133	898	233	79
		22.8	37.3	29.6	7.7	2.6

エ 自分が男または女として生まれてよかったと思いますか（高校生）

今回の調査で、自分が男または女として生まれてよかったと思うと回答した者の比率は、学年別で見ると、どの学年も約 85%ある。一方、性別で見ると、女性で 79.8%と、男性と比べて低くなっている。

（表 2-4-7）自分が男または女として生まれてよかったと思いますか

高校生		はい	いいえ	無回答
男子	1年生	501	28	17
		91.8	5.1	3.1
	2年生	427	27	16
		90.9	5.7	3.4
	3年生	447	48	26
		85.8	9.2	5.0
計	1,375	103	59	
	89.5	6.7	3.8	
女子	1年生	390	108	6
		77.4	21.4	1.2
	2年生	393	92	9
		79.6	18.6	1.8
	3年生	410	77	10
		82.5	15.5	2.0
	計	1,193	277	25
		79.8	18.5	1.7
合計		2,568	380	84
		84.8	12.4	2.8

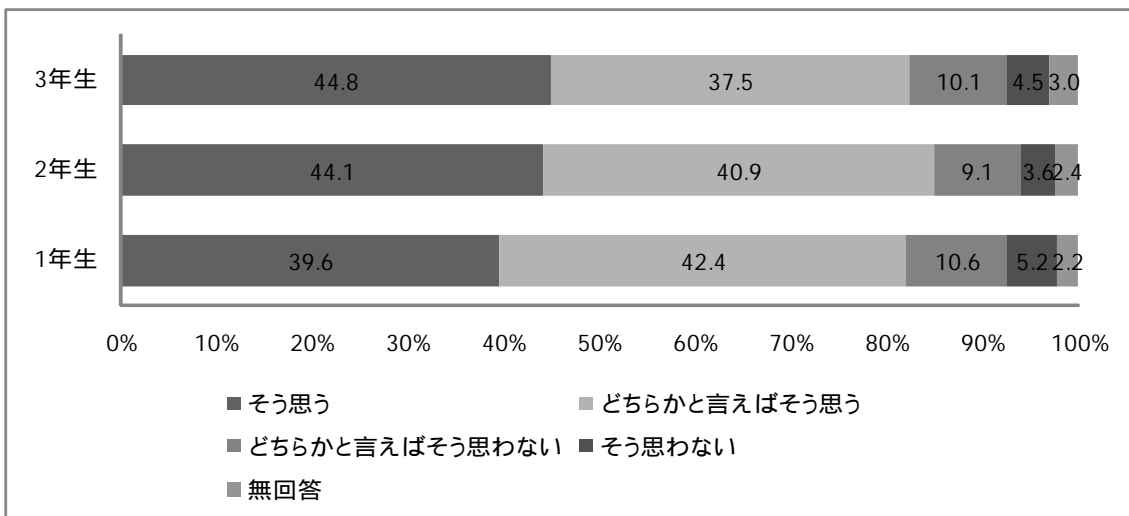
オ 性行動で相手の身体や心を傷つける可能性（高校生）

今回の高校生の調査で、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性があると思う者、またどちらかといえばそう思う者の比率は、学年に関係なく、合計で 80%を上回っている。一方で、どちらかといえばそう思わない、またはそう思わない者の比率が 10%を上回っている。

（表 2-4-8）性行動で相手の身体や心を傷つける可能性

高校生		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	
男子	1年生	213	230	49	37	17	
		39.0	42.1	9.0	6.8	3.1	
	2年生	202	187	45	21	15	
		43.0	39.8	9.6	4.5	3.2	
	3年生	233	187	49	28	24	
		44.7	35.9	9.4	5.4	4.6	
計	648	604	143	86	56		
		42.2	39.3	9.3	5.6	3.6	
女子	1年生	204	215	61	18	6	
		40.5	42.7	12.1	3.6	1.2	
	2年生	221	208	43	14	8	
		44.7	42.1	8.7	2.8	1.6	
	3年生	223	196	55	16	7	
		44.9	39.4	11.1	3.2	1.4	
計	648	619	159	48	21		
		43.3	41.4	10.6	3.2	1.4	
合計		1,296	1,223	302	134	77	
			42.8	40.3	10.0	4.4	2.6

（図 2-4-1）性行動で相手の身体や心を傷つける可能性



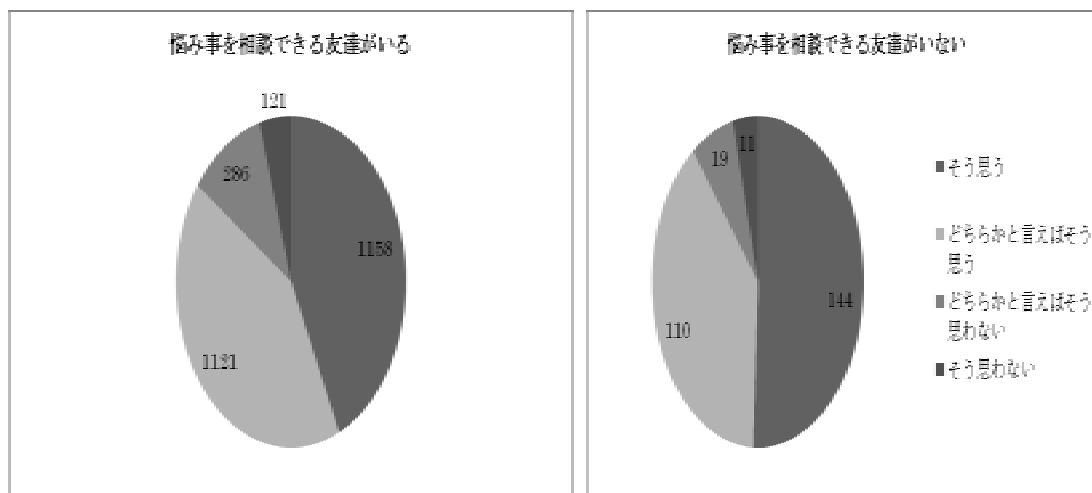
カ 悩み事がある時に相談できる友人の有無と、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性（高校生）

今回の調査で、悩み事がある時に相談できる友人の有無別に、性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う者の比率を見ると、相談できる友人がいる者は、いない者に比べて、「そう思う」の比率が低い。

（表 2-4-9）悩み事がある時に相談できる友人の有無別にみた、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
いる	1158	1121	286	121	3
いない	144	110	19	11	0
無回答	8	2	0	4	76
計	1,310	1,233	305	136	79
	42.8	40.3	10.0	4.3	2.6

（図 2-4-2）悩み事がある時に相談できる友人の有無別にみた、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性





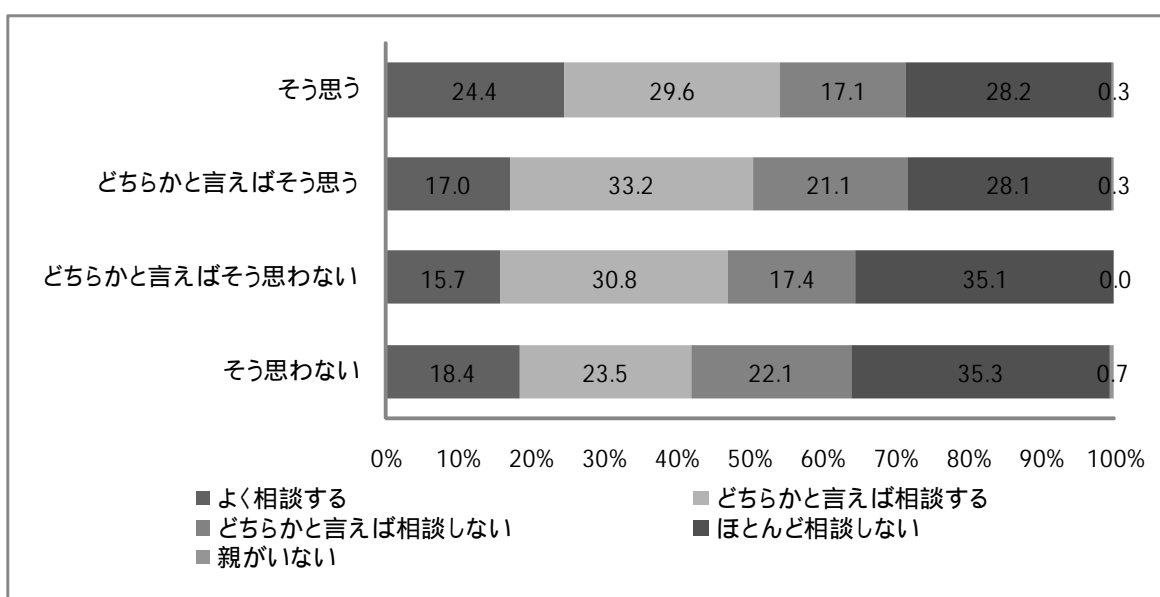
キ 悩み事がある時の親への相談の有無と、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性  
(高校生)

今回の調査で、悩みがある時の親への相談の有無別に、性行動は相手の身体や心を傷つける可能性があると思う者の比率を見ると、「よく相談する、またはどちらかと言えば相談する方である」という者は、そうでない者に比べて、「そう思う」の比率が高い。

(表 2-4-10) 悩みがある時の親への相談の有無別にみた、性行動で相手の身体や心を傷つける可能性

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
よく相談する	320	210	48	25	1
	53.0	34.8	7.9	4.1	0.2
どちらかと言えば相談する	388	409	94	32	0
	42.0	44.3	10.2	3.5	0.0
どちらかと言えば相談しない	224	260	53	30	1
	39.4	45.8	9.3	5.3	0.2
ほとんど相談しない	370	347	107	48	1
	42.4	39.7	12.3	5.5	0.2
親がいない	4	4	0	1	0
	44.4	44.4	0.0	11.1	0.0
無回答	4	3	3	0	76
	4.7	3.5	3.5	0.0	88.4
計	1,310	1,233	305	136	79
	42.8	40.3	10.0	4.4	2.6

(図 2-4-3) 性行動で相手の身体や心を傷つける可能性別にみた、悩みがある時の親への相談の有無



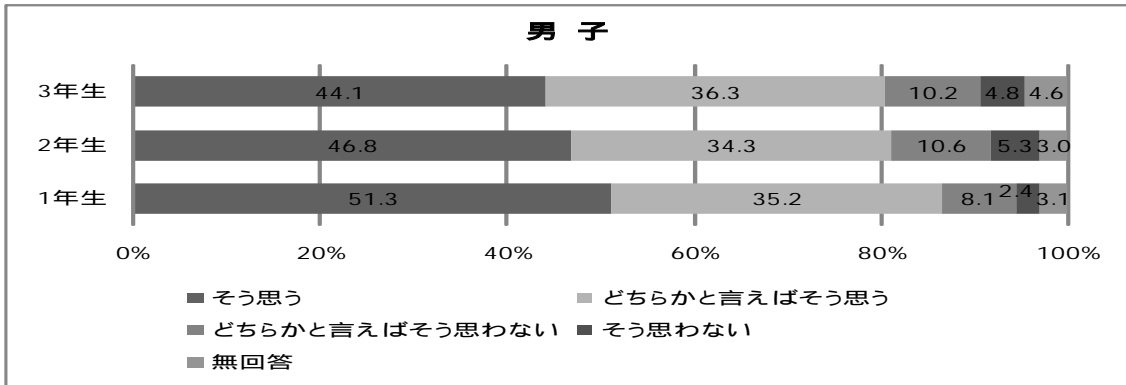
ク 自分の身体を大切にしているか（高校生）

今回の高校生の調査で、自分の身体を大切にしていると思う者、またどちらかといえばそう思う者の比率は、学年に関係なく、合計で80%を上回っている。一方で、どちらかといえばそう思わない、またはそう思わない者の比率が10%を上回っている。

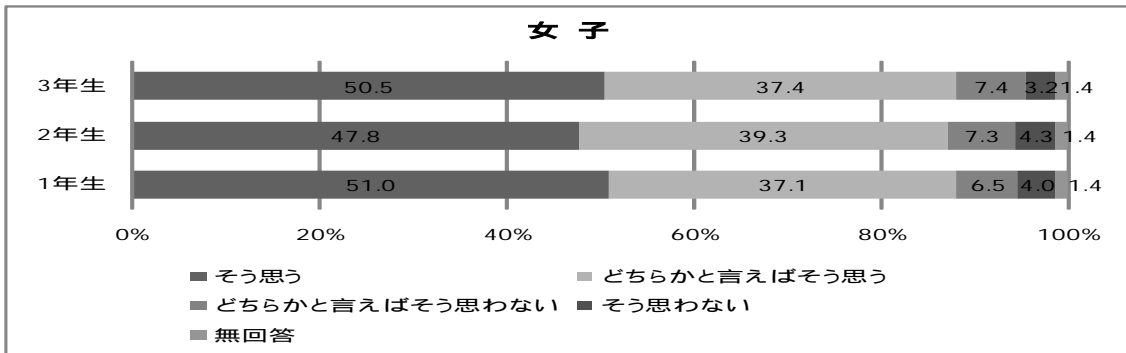
（表2-4-11）自分の身体を大切にしているか（高校生）

高校生		そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない	無回答
男子	1年生	280 51.3	192 35.2	44 8.1	13 2.4	17 3.1
	2年生	220 46.8	161 34.3	50 10.6	25 5.3	14 3.0
	3年生	230 44.1	189 36.3	53 10.2	25 4.8	24 4.6
	計	730 47.5	542 35.3	147 9.6	63 4.1	55 3.6
	女子	1年生	257 51.0	187 37.1	33 6.5	20 4.0
2年生	236 47.8	194 39.3	36 7.3	21 4.3	7 1.4	
3年生	251 50.5	186 37.4	37 7.4	16 3.2	7 1.4	
計	744 49.8	567 37.9	106 7.1	57 3.8	21 1.4	
合計		1,474 48.7	1,109 36.4	253 8.4	120 4.0	76 2.5

（図2-4-4）自分の身体を大切にしているか（男子）



（図2-4-5）自分の身体を大切にしているか（女子）



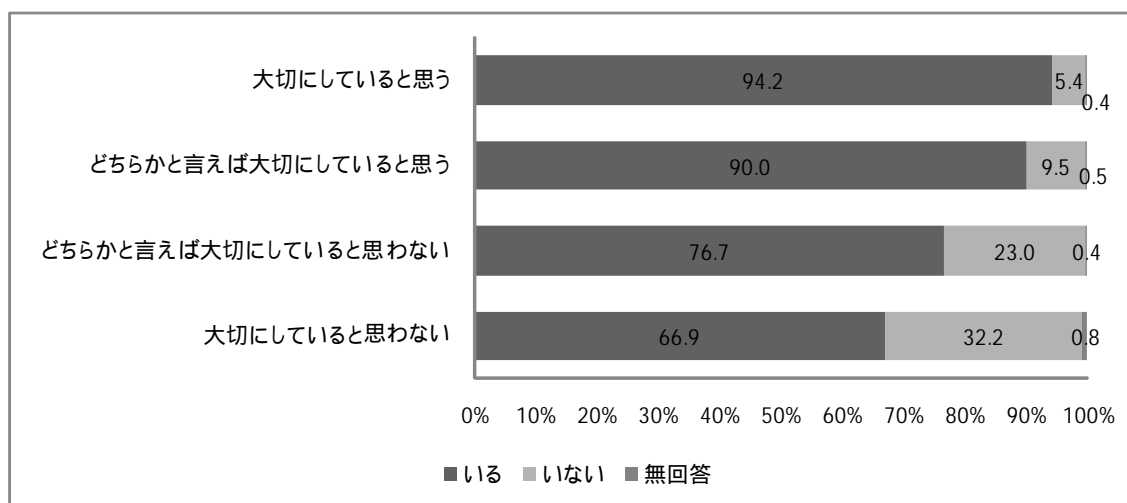
ケ 自分の身体を大切にすること意識の有無別にみた、悩み事がある時に相談できる友人の有無（高校生）

今回の調査で、自分の身体を大切にすること意識の有無別に、悩み事がある時に相談できる友人がいる者の比率を見ると、大切にしている、またはどちらかと言えば大切にしていると思う者は、そうでない者に比べて、「相談できる友人がいる」の比率が高い。

（表 2-4-12）自分の身体を大切にすること意識の有無別にみた、悩み事がある時に相談できる友人の有無

	いる	いない	無回答
大切にしていると思う	1,406	80	6
どちらかと言えば大切にしていると思う	1,003	106	6
どちらかと言えば大切にしていると思わない	197	59	1
大切にしていると思わない	81	39	1

（図 2-4-6）自分の身体を大切にすること意識の有無別にみた、悩み事がある時に相談できる友人の有無



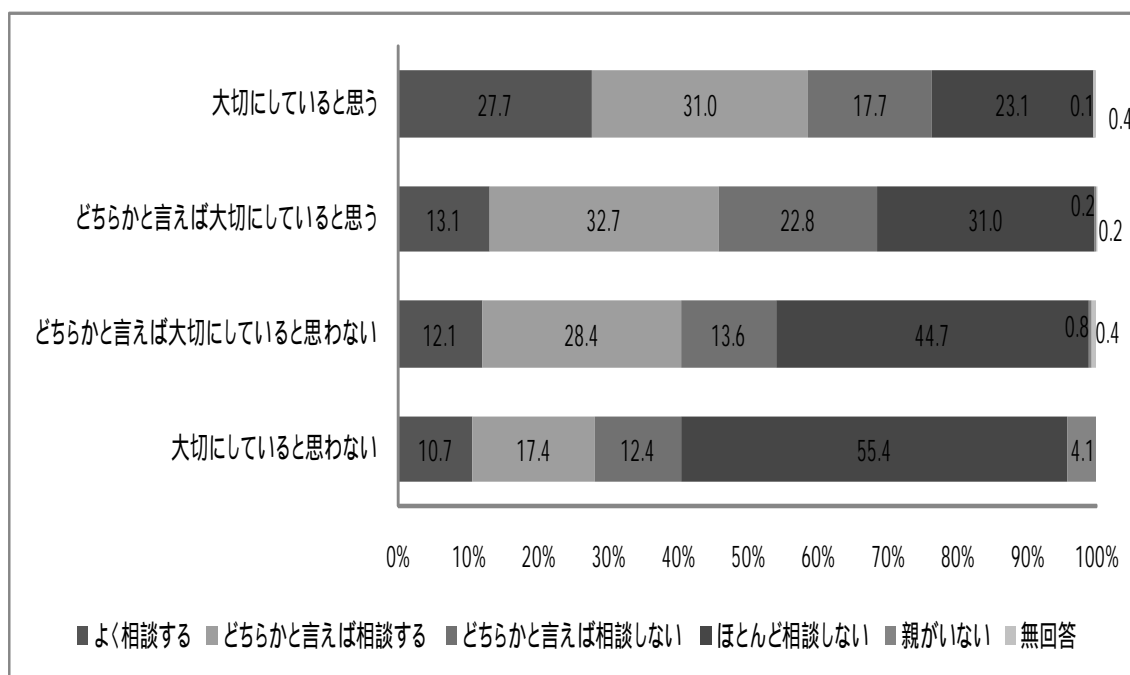
コ 自分の身体を大切にしている意識の有無別にみた、悩み事がある時の親への相談の有無（高校生）

今回の調査で、自分の身体を大切にしている意識の有無別に、悩み事がある時の親への相談の有無を見ると、大切にしている、またはどちらかと言えば大切にしていると思う者は、そうでない者に比べて、「よく相談する」または「どちらかといえば相談する方である」の比率が高い。

（表 2-4-13）自分の身体を大切にしている意識の有無別にみた、悩み事がある時の親への相談の有無

	よく相談する	どちらかと言えば相談する	どちらかと言えば相談しない	ほとんど相談しない	親がいない	無回答
大切にしていると思う	414	463	264	344	1	6
どちらかと言えば大切にしていると思う	146	365	254	346	2	2
どちらかと言えば大切にしていると思わない	31	73	35	115	1	2
大切にしていると思わない	13	21	15	67	5	0

（図 2-4-7）自分の身体を大切にしている意識の有無別にみた、悩み事がある時の親への相談の有無



サ 自分の身体を大切にする意識の有無別にみた、自分が男性または女性に生まれてよかったと思う者の比率（高校生）

今回の調査で、自分の身体を大切にする意識の有無別に、自分が男性または女性に生まれてよかったと思う者の比率を見ると、大切にしている、またはどちらかと言えば大切にしていると思う者は、そうでない者に比べて、「よかったと思う」の比率が高い。

（表 2-4-14）自分の身体を大切にする意識の有無別にみた、自分が男性または女性に生まれてよかったと思う者の比率

	はい	いいえ	無回答
大切にしていると思う	1,381	108	3
どちらかと言えば大切にしていると思う	964	148	3
どちらかと言えば大切にしていると思わない	181	73	3
大切にしていると思わない	69	51	1

（図 2-4-8）自分の身体を大切にする意識の有無別にみた、自分が男性または女性に生まれてよかったと思う者の比率（高校生）

